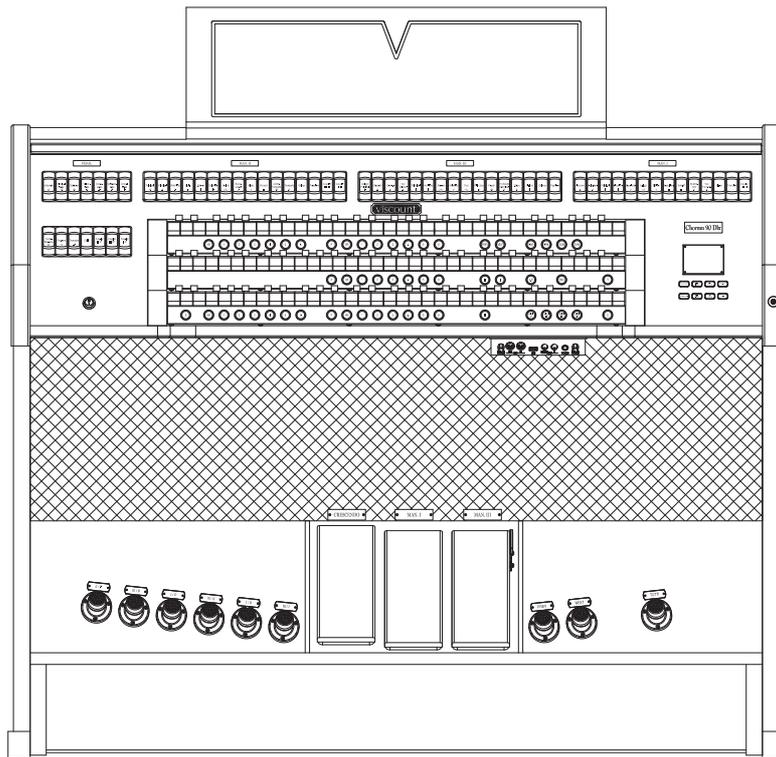




VISCOUNT

CLASSIC ORGAN

Chorum 90/60/40/S40



取扱説明書

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

	警告	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
---	-----------	---

	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
---	-----------	--

■ 本体に表示されている警告マークについて

本体には、次の警告マークが付いています。



これは、以下の内容の注意を喚起するものです。

「感電防止のため、パネルやキャビネットを外さないでください。内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。」

警告

電源 / 電源コード



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は必ず交流100Vを使用する。

エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。



必ず実行

電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線を接続する。

確実に接地接続しないと、感電や火災、または故障の原因になります。アース接続をはずす場合は、電源プラグをコンセントから取りはずしてから行ってください。

分解禁止



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。

水に注意



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センター（63ページ参照）に点検をご依頼ください。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本体の上にもろそくなど火気のあるものを置かない。

もろそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- ・電源コード/プラグがいたんだ場合
- ・製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センター（63ページ参照）に点検をご依頼ください。

注意

電源 / 電源コード



たこ足配線をしない。
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電や火災、故障の原因になることがあります。

設置



禁止

不安定な場所に置かない。
本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方々へけがをしたりする原因になります。



禁止

本体を壁につけない。
換気が十分でないと、本体内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。壁から3cm以上離してください。



必ず実行

この製品を持ち運びする場合は、必ず2人以上で行なう。
この製品を1人で無理に持ち上げると、腰を痛めたり、この製品が落下して破損したり、お客様やほかの方々へけがをしたりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。
コードをいためたり、お客様やほかの方々へ転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

この製品を電源コンセントの近くに設置する。
電源プラグへ容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

接続



必ず実行

すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。
感電、聴覚障害または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。
聴覚障害または機器の損傷の原因になります。

取り扱い



禁止

本体のすき間に手や指を入れない。
お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

パネルや鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。
感電、ショート、火災、故障や動作不良の原因になることがあります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、オルガンやコントローラー（ノブ、ボタンなど）、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損したり、お客様やほかの方々がかげがをしたりする原因になります。

ベンチ



禁止

不安定な場所に置かない。
ベンチが転倒して、お客様やほかの方々がかげがをする原因になります。



禁止

ベンチで遊んだり、ベンチを踏み台にしたりしない。
ベンチが転倒したりこわれたりして、お客様がかげがをする原因になります。



禁止

ベンチには二人以上ですわらない。
ベンチが転倒したりこわれたりして、お客様がかげがをする原因になります。



必ず実行

組み立て方の説明をよく読み、手順どおりに組み立てる。

手順どおりに正しく組み立てないと、ベンチが破損したり、お客様がかげがをしたりする原因になります。



必ず実行

ベンチのネジを定期的に締め直す。

ベンチを長期間使用すると、ベンチのネジがゆるむことがあります。ネジがゆるんだ場合は、付属の専用レンチで締め直してください。



必ず実行

ベンチの脚で床を傷つけないよう注意する。

ベンチの下にマットを敷くなどして、床を保護されることをおすすめします。



必ず実行

小さなお子様の後方への転倒に注意する。
背もたれがないため、後方へ転倒してけがをするおそれがあります。



必ず実行

ベンチを手入れするときは、乾いた柔らかい布、または水を固くしぼった柔らかい布を使用する。

ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは、変色/変質の原因になりますので、使用しないでください。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

ベンチの組み立て方

 硬くて平らな場所で組み立ててください。

付属品をご確認ください。

- | | |
|-------------|----|
| • 座板 | 1枚 |
| • 側板 | 2枚 |
| • フットレスト | 1個 |
| • ネジ(M6×45) | 8個 |
| • 専用レンチ | 1個 |

1. 側板(脚)を取り付ける。

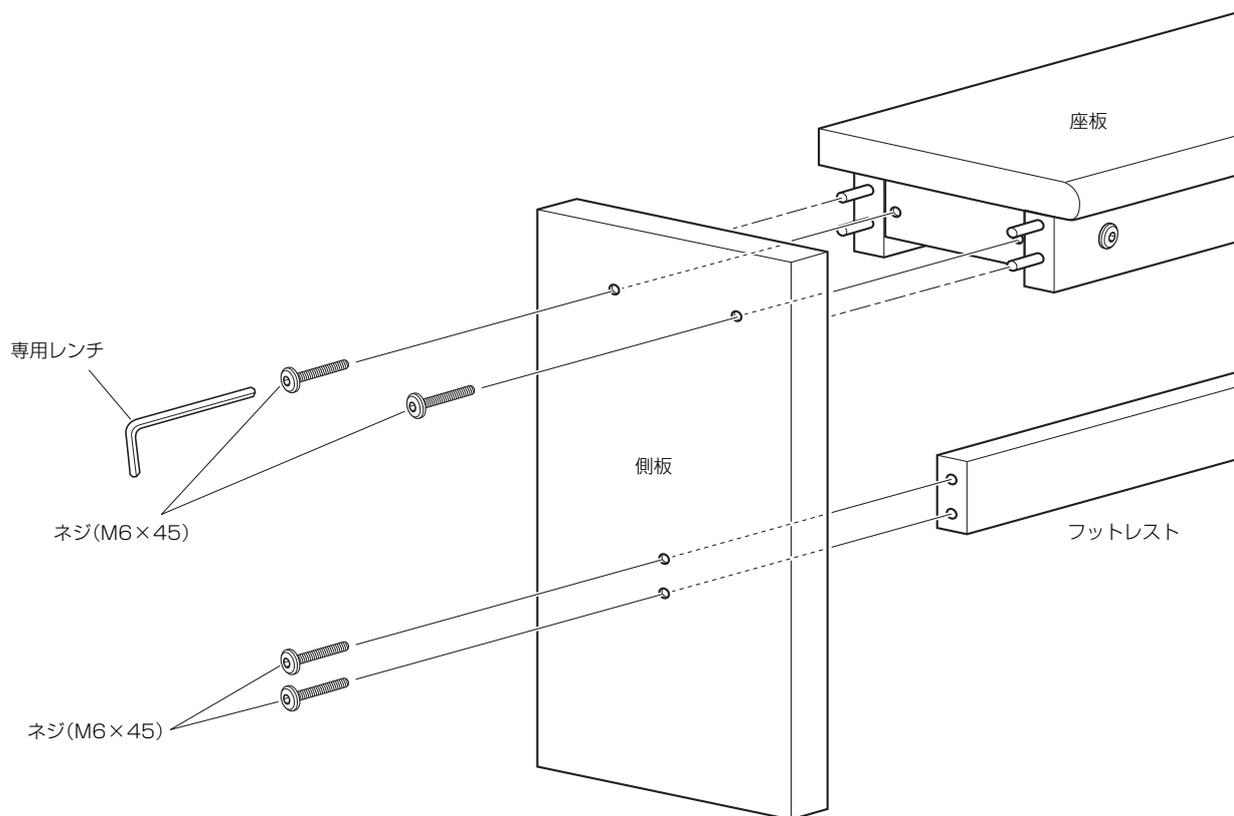
付属のネジ(M6×45)で側板を座板に取り付けます。側板を座板側に押さえつけながら、付属の専用レンチでネジを締めます。同様に側板をフットレストに取り付けます。

2. ベンチを設置場所に置き、ぐらつきがないか確認する。

ぐらつく場合は、専用レンチでネジを締めなおします。

3. ネジにゆるみがないか確認する。

ゆるみがある場合は、座板と側板のすき間がなくなるまで、ネジをしっかり締め付けてください。



足鍵盤の取り付け方

足鍵盤は簡単に取り付けたり、取り外したりできます。

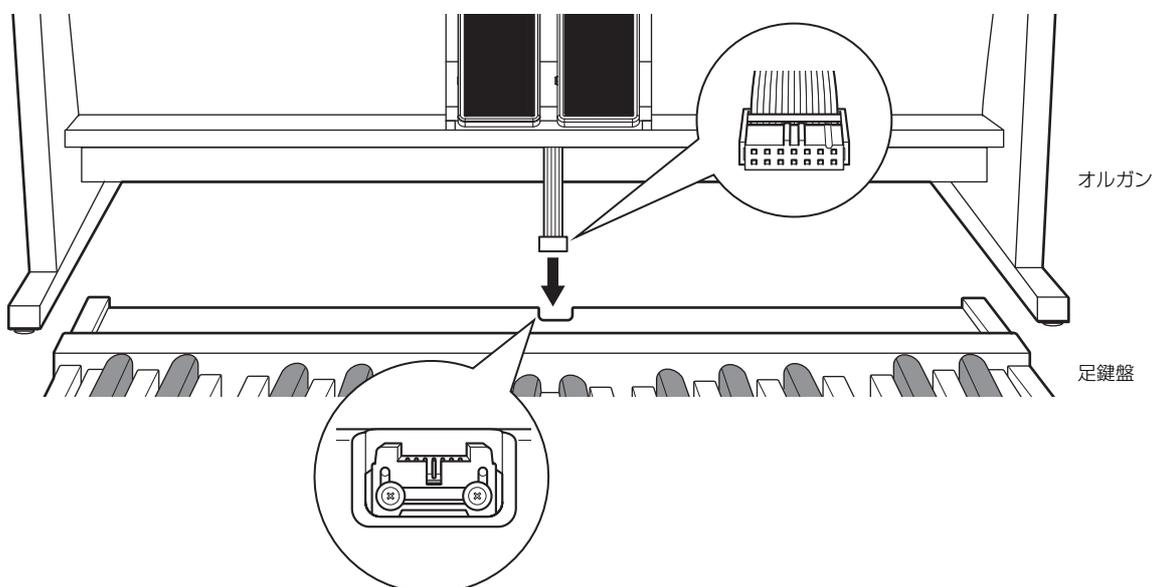
足鍵盤には平行凹型と扇凹型の 2 タイプがあります。以下では平行凹型で説明していますが、扇凹型も同じ手順で取り付けます。

! 足鍵盤は大変重いため、作業時はけがをしないようにご注意ください。

! 足鍵盤を取り付けたり、取り外したりするときは、オルガン本体の電源がオフになっていることを確認してください。

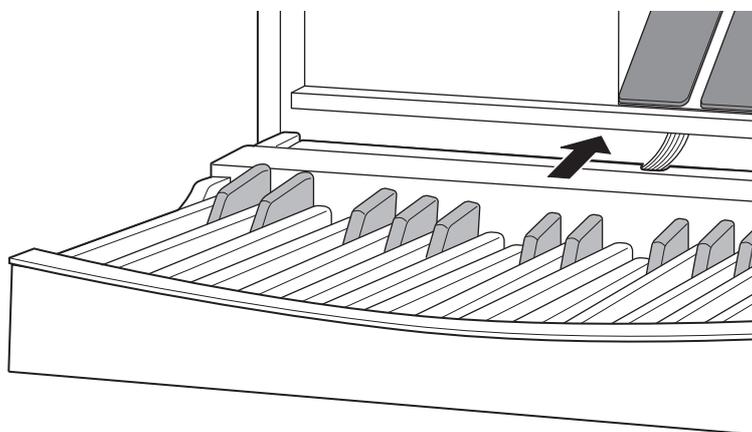
1. オルガンの中央から出ているケーブルを、足鍵盤の端子に接続する。

ケーブルのコネクターと足鍵盤の端子の向きを確認のうえ、間違えないように接続してください。
また、ケーブルのコネクターは無理やり奥まで差し込まないようにしてください。

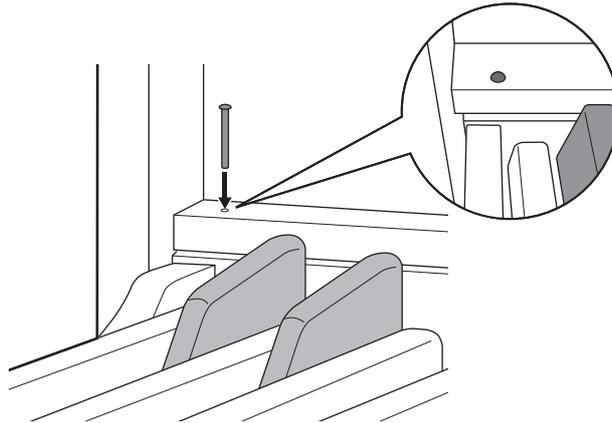


2. 足鍵盤をオルガン側に押し込む。

ケーブルをオルガンと足鍵盤の間にはさまないようにご注意ください。



3. ピンを左右2カ所に差し込んで、オルガンと足鍵盤を固定する。



※ピンでの固定が不要なモデルもあります。

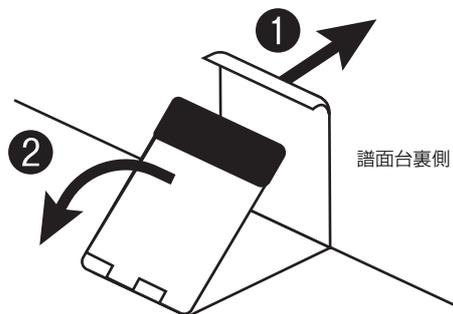
運搬/移動時のご注意

オルガンを移動するときは、以下の点にご注意ください。

- 移動する前に、必ず足鍵盤を取り外してください。
- 電源コードをコンセントから抜き、他の機器との接続コードは取り外してください。コード類はオルガンの下に巻き込まないようにしてください。
- オルガン背面の両側に取っ手用の穴があいていますので、移動時にお使いください。

譜面台のたたみ方

譜面台を手前に引き、譜面台裏側のロックを解除してください。



目次

1. 重要な注意事項	10
1.1 製品の取り扱い/お手入れに関する注意	10
1.2 データの保存に関する注意	10
1.3 データの著作権に関するお願い	10
1.4 取扱説明書に関するお知らせ	11
2. 各部の名称とはたらき	12
3. 電源を入れる/メイン画面	21
3.1 メインメニュー(MAIN MENU)	23
4. ボリュームの設定(VOLUMES機能)	24
5. 一般設定(SETTINGSメニュー)	25
5.1 リバーブタイプの選択(REVERB機能)	26
5.2 イコライザーの調節(EQUALIZERS機能)	27
5.3 オーディオ出力の設定(EXTERNAL OUTPUTS機能)	29
5.4 MIDIインターフェースの設定(MIDI機能)	29
5.5 ノートベロシティの調節(VELOCITY SENS.機能)	32
5.6 コンビネーションの設定(COMBINATIONS機能)	32
5.7 セキュリティーの設定(SEcurity機能)	34
5.8 工場出荷時設定へのリセット(FACTORY SETTINGS機能)(誤作動があった場合)	36
6. オルガンスタイルの設定(STYLEメニュー)	37
6.1 トレモロの調節(TREMULANTS機能)	38
6.2 各ボイスのボリューム調節(VOICES VOLUME機能)	38
6.3 オーケストラボイスの選択(ORCHESTRA機能)	39
7. MIDIメッセージの保存(COMBINATION PRGメニュー)	40
8. ファイルの管理(FILEメニュー)	41
8.1 USBメモリーについて	41
8.2 設定ファイルの読み込み(FILE LOAD機能)	42
8.3 設定ファイルの保存(FILE SAVE機能)	43
9. 再生と録音(SEQUENCER機能)	45
9.1 曲の再生(PLAYモード)	45
9.2 曲の録音(RECORDモード)	47
9.3 曲のオーバーダビング(OVERDUBモード)	49
10. ストップのローカルオフ	52
11. 付録	53
11.1 デモソングの再生(DEMO メニュー)	53
11.2 全ファイルの内容	53
11.3 MIDI とは	55
11.4 MIDI インプリメンテーションの詳細	57
12. 製品仕様	61
MIDI インプリメンテーションチャート	62
保証とアフターサービス	63

1. 重要な注意事項

1.1 製品の取り扱い/お手入れに関する注意

- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。
- 直射日光のあたる場所やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多い場所で使用しないでください。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体のパネルや鍵盤が変色／変質する原因になります。
- 本体を手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色／変質する原因になりますので、使用しないでください。
- ベンチを手入れするときは、乾いた柔らかい布、または水を固くしぼった柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは、変色／変質する原因になりますので、使用しないでください。
- アンプや拡張システムに接続するときは、必ず高品質のシールドケーブルをご使用ください。
- 電源コードはアース付きのコンセントに接続してください。

1.2 データの保存に関する注意

- 本体に保存したデータは故障や誤操作などによって失われることがあります。大切なデータは、USBメモリーに保存してください。
- 保存したUSBメモリーの万一の事故に備えて、大切なデータは予備のUSBメモリーにバックアップとして保存されることをおすすめします。

1.3 データの著作権に関するお願い

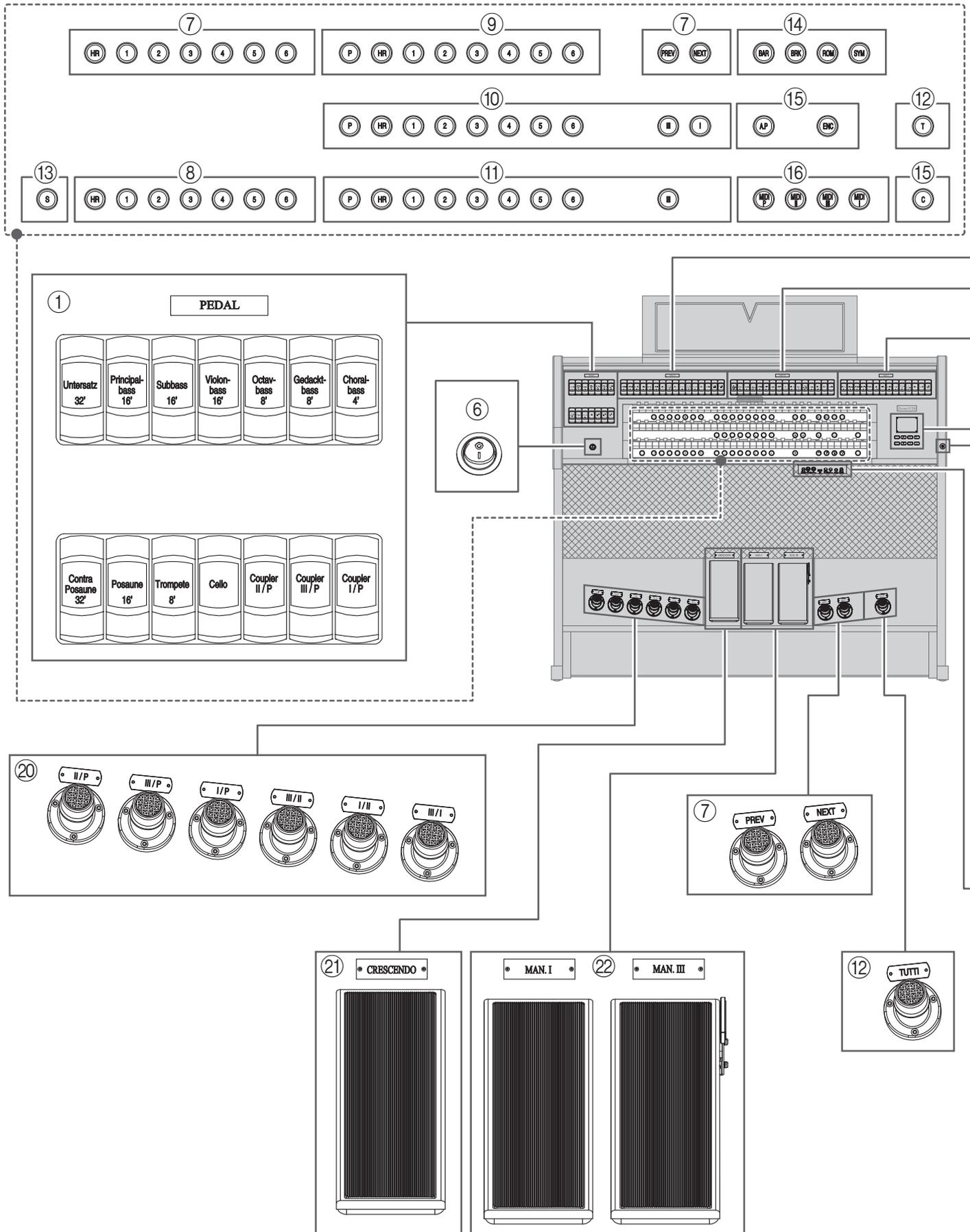
- ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽／サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。

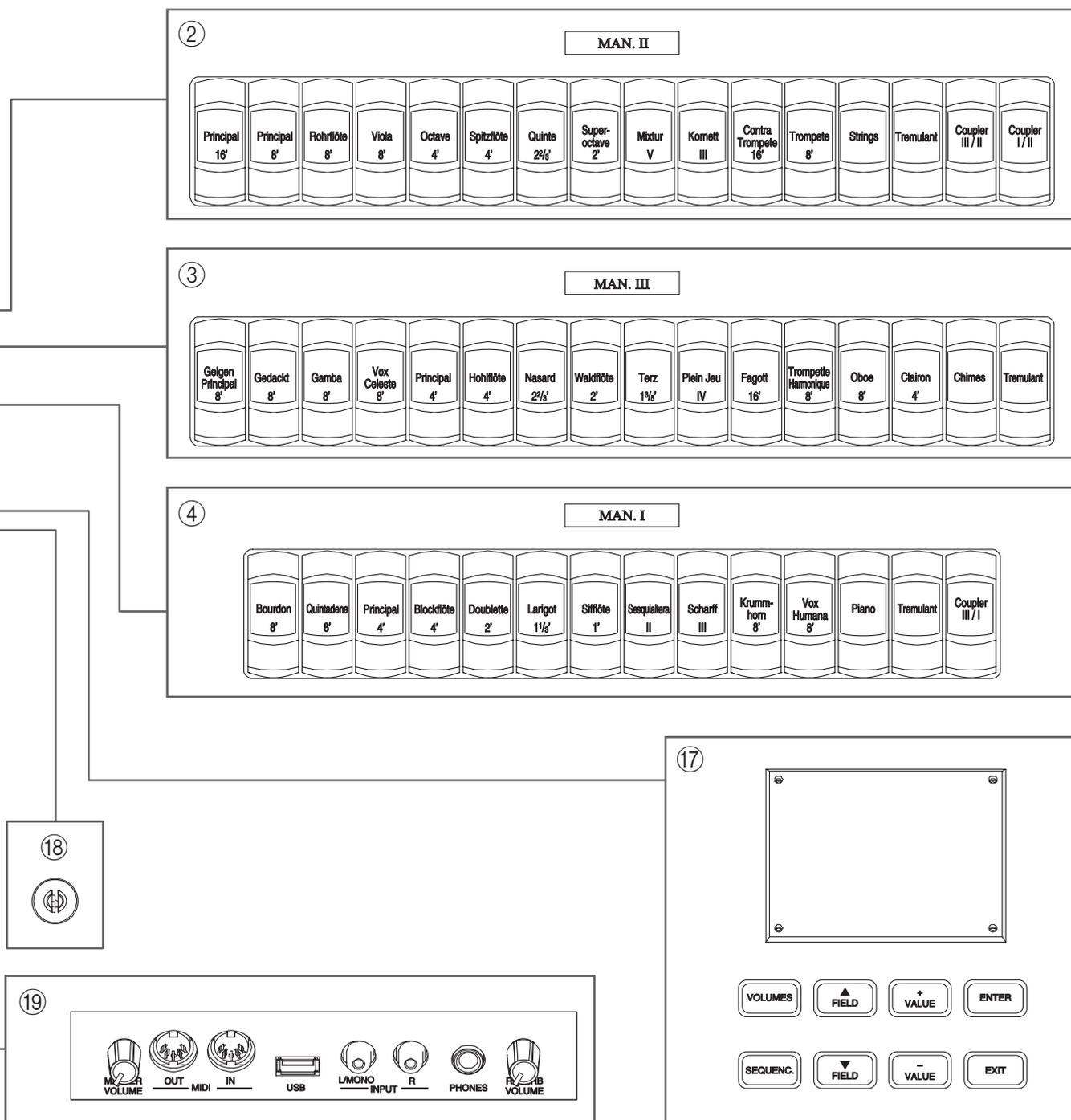
1.4 取扱説明書に関するお知らせ

- 本書のいかなる方法による無断複写・転載を禁じます。
- 本製品のすべての機能を使い、演奏をお楽しみいただくため、この取扱説明書をよく読んでご活用ください。
- この取扱説明書は大切に保存してください。
- 仕様、付属品および外観について、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。実際の仕様と異なる場合があります。
- 本書では各部(ノブ、ボタン、端子など)の名称を[]で囲んで表示します。例えば、[ENTER]はENTERボタンのことを意味します。
- この取扱説明書では、本書制作時のオペレーティングシステムバージョンにおける操作方法を説明しています。安心してお使いいただくために、日本国内では技術者が訪問してアップデートすることをお願いしております。アップデートをご希望のお客様は、お買い上げの販売店にお問い合わせいただきますようお願い申し上げます。
- 各機能の詳細については、リファレンスマニュアルをご覧ください。リファレンスマニュアルは以下のウェブサイトからダウンロードできます。
<http://www.viscountinstruments.com/>
- MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

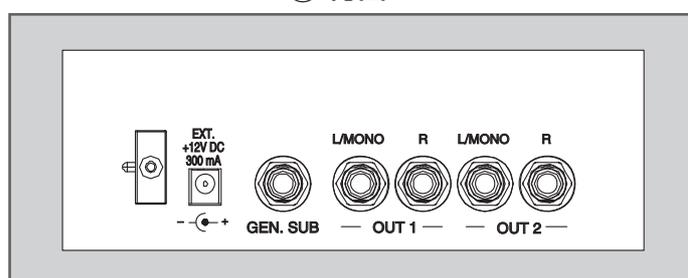
2. 各部の名称とはたらき

Chorum 90

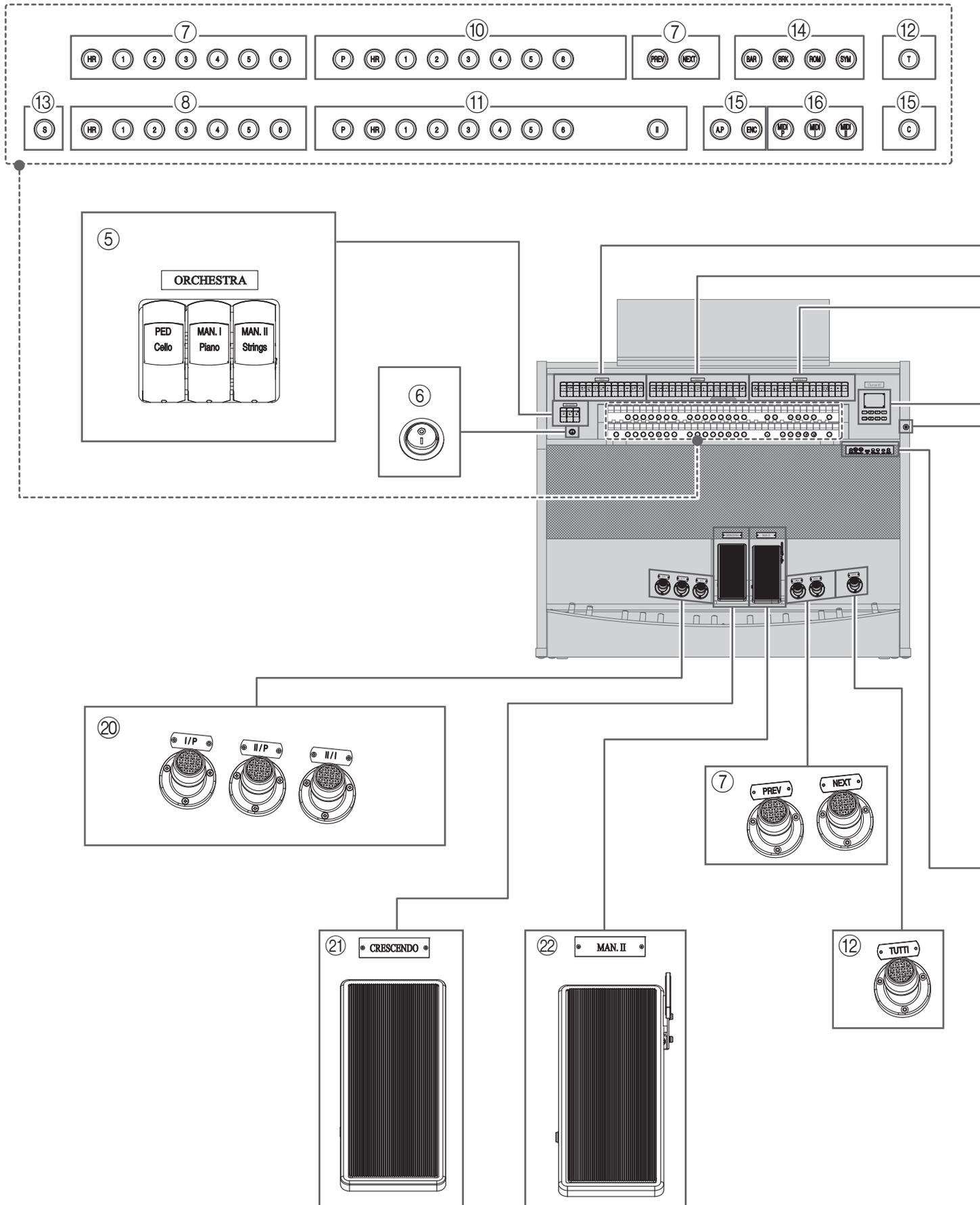


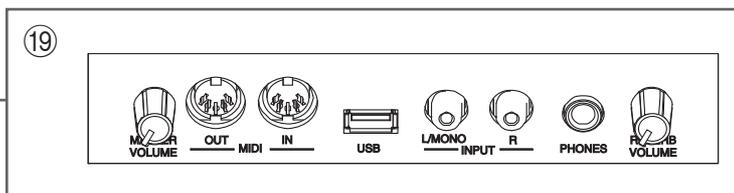
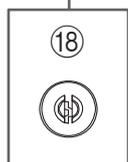
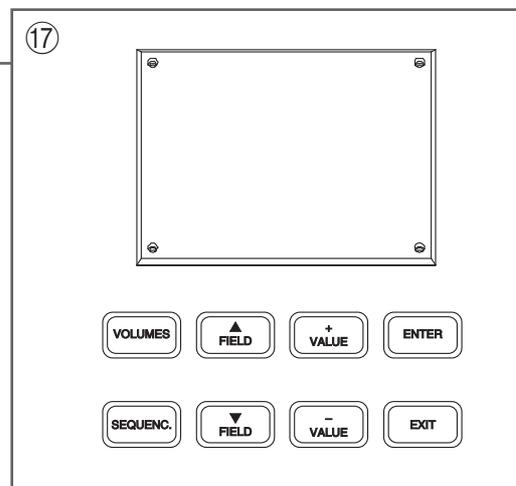
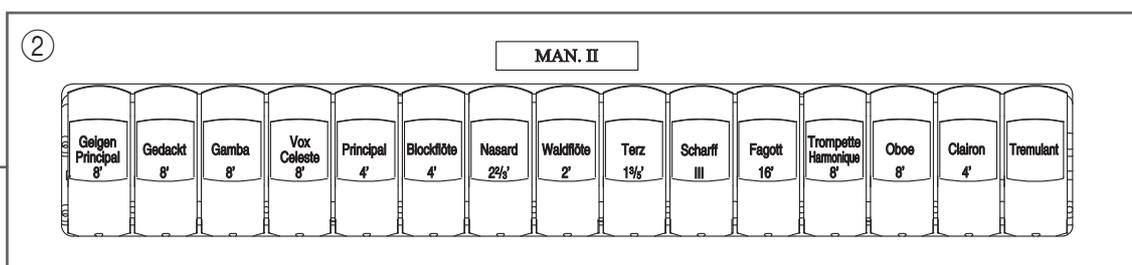
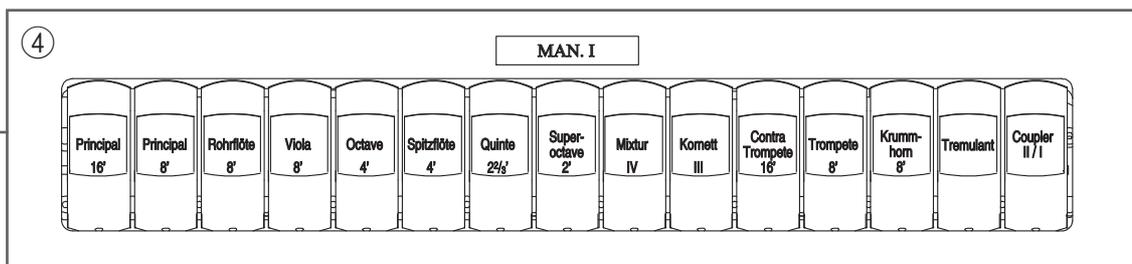
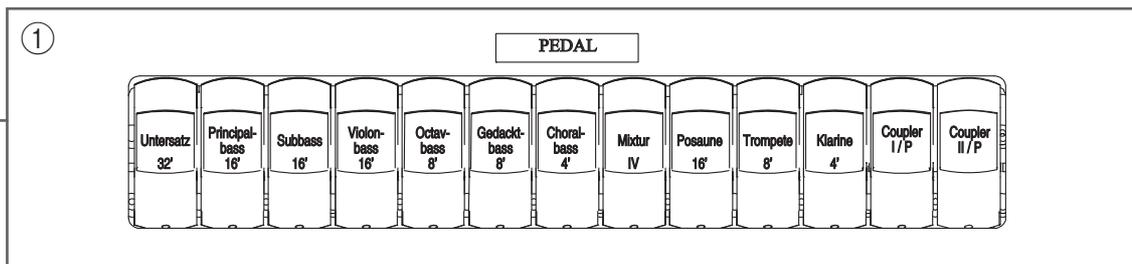


23 背面

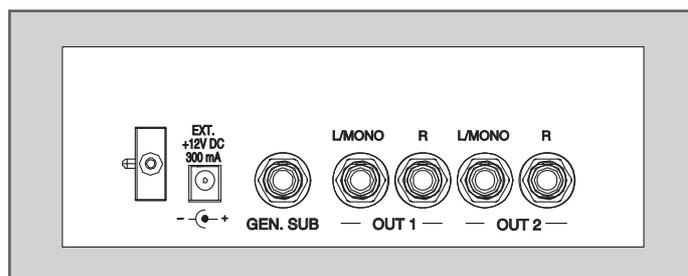


Chorum 60

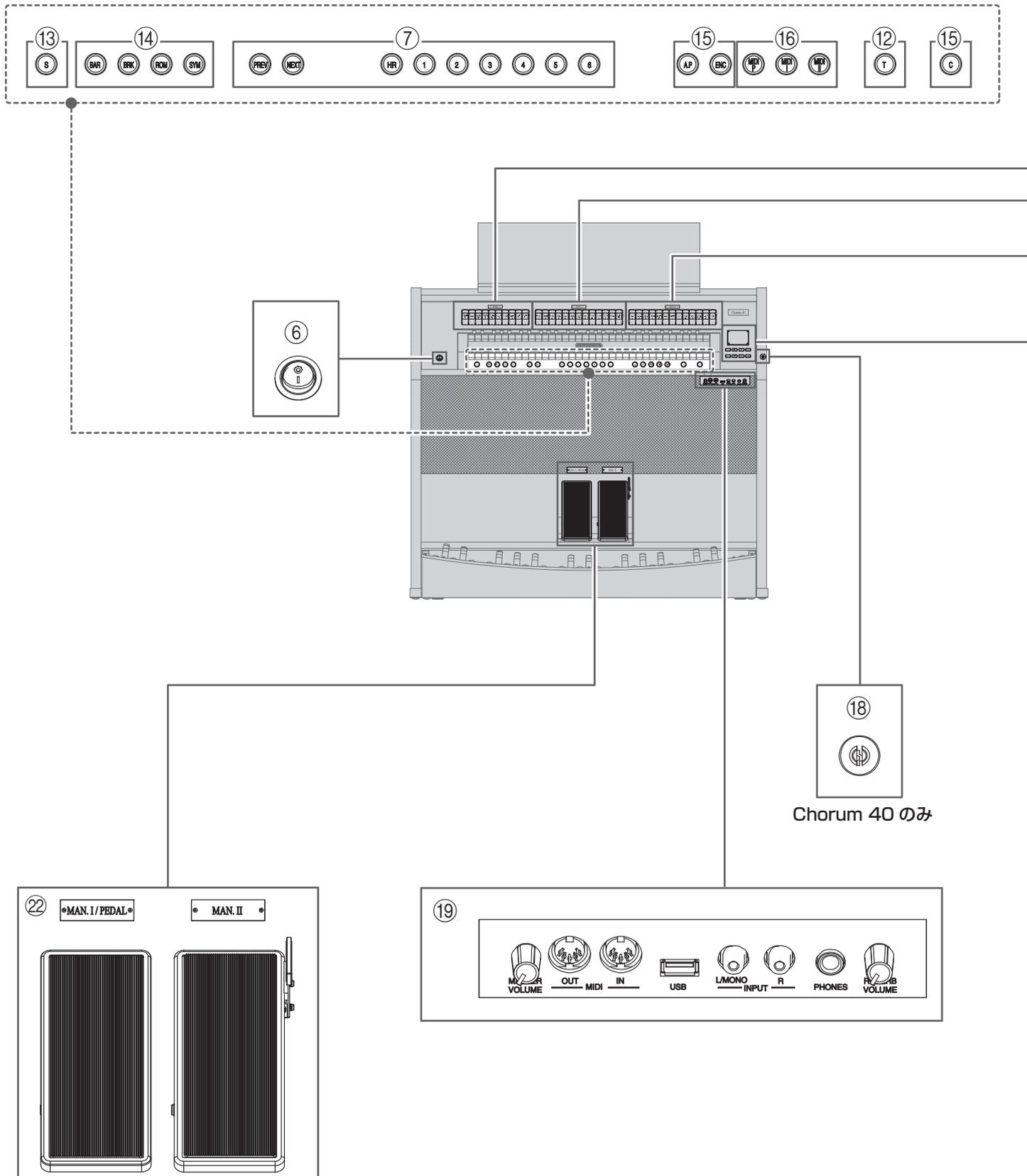


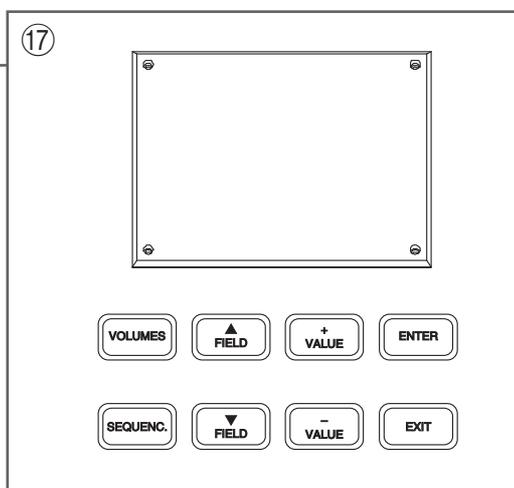
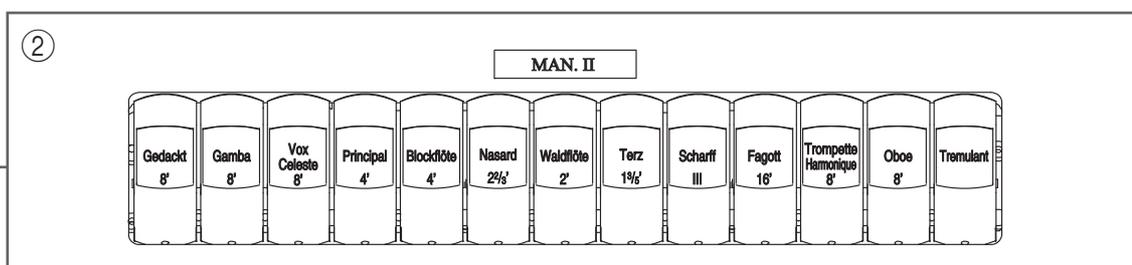
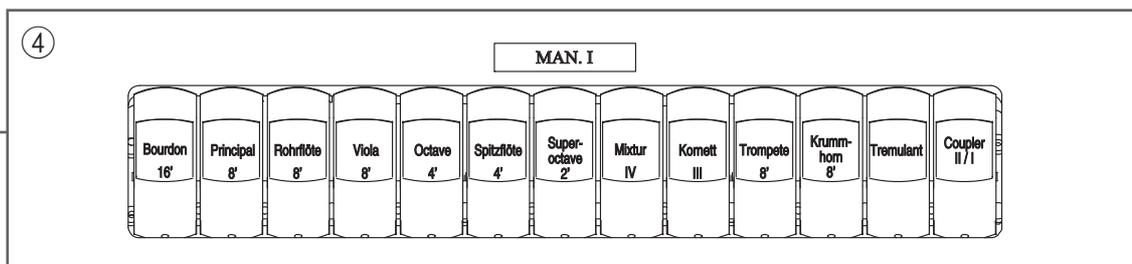
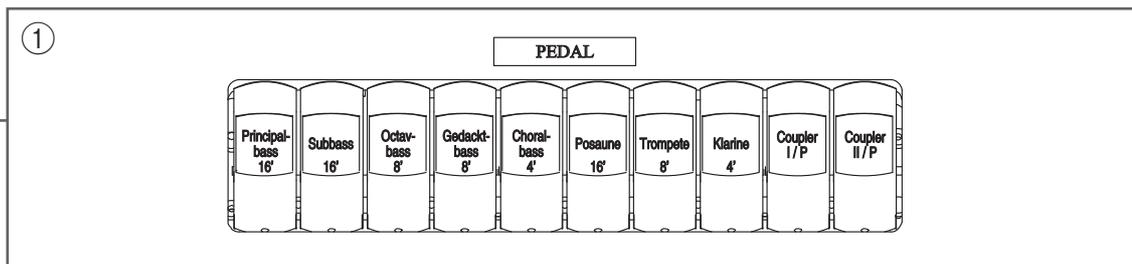


⑳ 背面

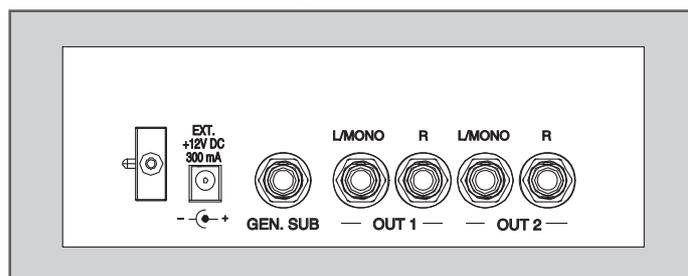


Chorum 40 / Chorum S40





⑳ 背面



① 足鍵盤(PEDAL)セクション

足鍵盤の音色ストップと手鍵盤／足鍵盤のカブラーです。以下のカブラーが使用できます。

- ・ [I/P]: 第 I 手鍵盤を足鍵盤へ
- ・ [II/P]: 第 II 手鍵盤を足鍵盤へ
- ・ [III/P]: 第 III 手鍵盤を足鍵盤へ(Chorum 90のみ)

② 第 II 手鍵盤(MAN. II)セクション

第 II 手鍵盤の音色ストップとトレモロ、手鍵盤のカブラーです。Chorum 90では以下のカブラーが使用できます。

- ・ [III/II]: 第 III 手鍵盤を第 II 手鍵盤へ
- ・ [I/II]: 第 I 手鍵盤を第 II 手鍵盤へ

③ 第 III 手鍵盤(MAN. III)セクション(Chorum 90のみ)

第 III 手鍵盤の音色ストップとトレモロです。

④ 第 I 手鍵盤(MAN. I)セクション

第 I 手鍵盤の音色ストップとトレモロ、手鍵盤のカブラーです。以下のカブラーが使用できます。

- ・ [III/I]: 第 III 手鍵盤を第 I 手鍵盤へ(Chorum 90のみ)
- ・ [II/I]: 第 II 手鍵盤を第 I 手鍵盤へ(Chorum 60/40/S40のみ)

⑤ オーケストラ(ORCHESTRA)セクション(Chorum 60のみ)

使用したいオーケストラボイスを各ストップで選択します。このセクションがないモデルでは、ORCHESTRA 機能を使って、オーケストラボイスを選択します(39ページ参照)。

オーケストラボイスを割り当てられるストップのリストは、ウェブサイト(<http://www.viscountinstruments.com/>)からダウンロードできます。

⑥ 電源スイッチ

本機の電源をオン／オフします。

⑦ ジェネラルボタン/ピストン

- ・ [1]～[6]: 選択されたメモリーバンクに保存されているコンビネーションを呼び出します([PREV]/[NEXT]を参照)。これらのコンビネーションは変更できます。下記⑬項の手順をご覧ください。
- ・ [HR]: メモリーを呼び出す前にマニュアルモードで設定したボイスの設定を復元します。
- ・ [PREV]/[NEXT]: ジェネラルコンビネーションのシーケンサーです。[PREV] ボタンで降順、[NEXT] ボタンで昇順に表示されます。また、[S] ボタンを押したまま [PREV] ボタンまたは [NEXT] ボタンを押すと、メモリーバンクを選択することができます。

⑧ 足鍵盤のメモリーボタン

- ・ [1]～[6]: 足鍵盤のディヴィジョンコンビネーションを呼び出します。これらのコンビネーションは変更できます。下記⑬項の手順をご覧ください。
- ・ [HR]: このボタンを押すと、メモリーを呼び出す前にマニュアルモードで設定したボイスの設定を復元します。

⑨ 第 III 手鍵盤のメモリーボタン(Chorum 90のみ)

- ・ [1]～[6]: 第 III 手鍵盤のディヴィジョンコンビネーションを呼び出します。これらのコンビネーションは変更できます。下記⑬項の手順をご覧ください。
- ・ [HR]: このボタンを押すと、第 III 手鍵盤メモリーを呼び出す前にマニュアルモードで設定したボイスの設定を復元します。
- ・ [P]: 第 III 手鍵盤から足鍵盤へカブラーをかけます。

⑩ 第 II 手鍵盤のメモリーボタン

- ・ [1]～[6]: 第 II 手鍵盤のディヴィジョンコンビネーションを呼び出します。これらのコンビネーションは変更できます。下記⑬項の手順をご覧ください。
- ・ [HR]: このボタンを押すと、第 II 手鍵盤メモリーを呼び出す前にマニュアルモードで設定したボイスの設定を復元します。
- ・ [P]: 第 II 手鍵盤から足鍵盤へカブラーをかけます。
- ・ [III]: 第 III 手鍵盤から第 II 手鍵盤へカブラーをかけます(Chorum 90のみ)。
- ・ [I]: 第 I 手鍵盤から第 II 手鍵盤へカブラーをかけます(Chorum 90のみ)。

⑪ 第 I 手鍵盤のメモリーボタン

- [1]～[6]:第 I 手鍵盤のディヴィジョンコンビネーションを呼び出します。これらのコンビネーションは変更できます。下記⑬項の手順をご覧ください。
- [HR]:第 I 手鍵盤メモリーを呼び出す前にマニュアルモードで設定したボイスの設定を復元します。
- [P]:第 I 手鍵盤から足鍵盤へカプラーをかけます。
- [Ⅲ]:第Ⅲ手鍵盤から第 I 手鍵盤へカプラーをかけます (Chorum 90のみ)。
- [Ⅱ]:第Ⅱ手鍵盤から第 I 手鍵盤へカプラーをかけます (Chorum 60のみ)。

⑫ [T]ボタン/[TUTTI]ピストン

トゥッティを呼び出します。トゥッティの設定は変更できます。下記⑬項の手順をご覧ください。

⑬ [S]ボタン

コンビネーションまたはトゥッティを保存するには、ボイスを設定したあとに、[S]ボタンを押しながら、保存したいコンビネーションのボタンを押します。

クレッシェンドの段階を保存するには、クレッシェンドペダルでその段階を選択したあとに、[S]ボタンを押しながら、ジェネラルコンビネーションの[HR]ボタンを押します。ある段階の設定内容を別の段階にコピーするには、コピー元の段階を選択し、[S]ボタンを押しながらコピー先の段階を選択してから、ジェネラルコンビネーションの[HR]ボタンを押します。

オルガンスタイル、トレモロの速さと深さ、オーケストラボイスを任意のディヴィジョン/ジェネラルコンビネーションやトゥッティに保存できます。これによりコンビネーションの選択が多様になり、異なる楽曲に合わせて音色を調節できます。この機能を使用するには、まずCOMBINATIONS機能から保存の選択肢を設定します(32ページ参照)。

メモ:

[S]ボタンのインジケーターが消灯しているときは、コンビネーションのセキュリティ設定(34ページ参照)が有効になっています。その場合はコンビネーション、トゥッティ、クレッシェンドを変更できません。

⑭ スタイルボタン

オルガンスタイルを選択します(37ページ参照)。

- [BAR]:バロック
- [BRK]:北ドイツバロック
- [ROM]:ロマンティック
- [SYM]:シンフォニー

選択後にメイン画面(21ページ参照)を表示すると、スタイル名を示したメッセージが数秒間表示されます。

⑮ 本機全体のコントローラー

以下のコントローラーは、それぞれのセクションではなく、本機全体にはたらきます。

- [A.P]:Chorum 90の第Ⅱ手鍵盤、またはChorum 60/40/S40の第Ⅰ手鍵盤で足鍵盤の音色を演奏できる、オートマチックペダル機能をオンにします。この場合、オルガンの足鍵盤から音が出なくなり、手鍵盤で最も低い音符を優先して発音します(モノフォニーで発音します)。
- [ENC]:エンクローズド機能がオンのとき、Chorum 90では[MAN.Ⅲ]のエクスペッションペダルを、Chorum 60/40/S40では[MAN.Ⅱ]のエクスペッションペダルを使用して、全体の音量を調節します。
- [C]:キャンセルボタンです。すべてのストップ、トレモロ、カプラー、手鍵盤上のその他のボタンをオフにし、ジェネラルおよびディヴィジョンのHRを削除してリセットします。[ENC]ボタン、[A.P]ボタンおよびMIDIセクションの状態をコンビネーションに保存するよう選択すると(32ページ参照)、それがキャンセルボタンでオフになります。

⑯ MIDIセクション

手鍵盤および足鍵盤のMIDIノートメッセージを[MIDI OUT]端子から出力するか、または無効にするかを設定します。

⑰ 設定画面(コントローラー/プログラミング)セクション

このセクションのボタン類とディスプレイを使用して本機と内蔵シーケンサーをプログラムし、設定します。

- [VOLUMES]:すべてのボリュームを調節するための画面を表示します。
- [SEQUENC.]:本機の内蔵シーケンサーを使用するための画面を表示します。

2. 各部の名称とはたらき

- **[FIELD▲]/[FIELD▼]**:カーソルを移動するためのボタンです。カーソルを合わせた項目は反転表示されます。**[FIELD▲]**ボタンはカーソルを上または前の項目に、**[FIELD▼]**ボタンはカーソルを下または次の項目に移動します。
- **[VALUE+]/[VALUE-]**:パラメーターの値(数字またはアルファベット)を調節するためのボタンです。**[VALUE+]**ボタンで値が増加し、**[VALUE-]**ボタンで値が減少します。
- **[EXIT]/[ENTER]**:ディスプレイのメニューにアクセスしたり、終了したりするボタンです。システムのメッセージを確認またはキャンセルするときに使用します。メニューにアクセスまたは確認する場合は**[ENTER]**ボタンを、メニューを終了またはキャンセルする場合は**[EXIT]**ボタンを押します。

⑱ ロールカバーロック(適用モデルのみ)

⑲ フロント接続パネル

このパネルには、頻繁に使う端子やコントローラーがあります。

- **[MASTER VOLUME]**:主音量を調節します。
- **[MIDI OUT]**:本機が生成したMIDIデータを送信するMIDI出力端子です。
- **[MIDI IN]**:外部MIDI機器から送信されたデータを受信するMIDI入力端子です。
- **[USB]**:USBメモリー(本機には付属していません)を接続します。オルガン設定や内蔵シーケンサーで録音した曲を保存できます。
- **[INPUT]**:本機の内蔵アンプを使用して他の楽器を演奏するために接続するライン入力端子です。音源がモノの場合は[L/MONO]端子のみを使用します。
- **[PHONES]**:ヘッドフォンを接続します。接続すると内蔵アンプの音はミュートされます。
- **[REVERB VOLUME]**:リバーブ効果のレベルを調節します。

メモ:

- MIDIインターフェースの詳細については、29ページ、55ページ、57ページをご覧ください。
- USBメモリーの詳細については、41ページをご覧ください。

⑳ カブラーコントローラー

カブラーをオン/オフします。

㉑ クレッシェンドペダル

このペダルを踏み込むとクレッシェンドの段階を選択できます。ペダルの各段階で、ピアノシモからフォルティシモまで同数値のラウドネス設定にリンクされた、プリセットのストップ群を作動します。

現在選択されている段階は、メイン画面の「CRESC.」または「CRESCEN.」に表示されます。

このペダルはすべてのレジスターをコントロールし、ストップ設定を変更します。クレッシェンドの各段階はプログラミングが可能です。設定の保存方法については⑬項をご覧ください。

㉒ エクスプレッションペダル

エクスプレッションペダルは1つまたは複数のセクションの音量を常にコントロールし、種々のダイナミックな効果を生むために使用します。

ペダル数はモデルと手鍵盤の段数により異なります。

- **[MAN. III]**:第Ⅲ手鍵盤の音量を連続的に調整します。
- **[MAN. II]**:第Ⅱ手鍵盤の音量を連続的に調整します。
- **[MAN. I]**:第Ⅰ手鍵盤の音量を連続的に調整します。
- **[MAN. I /PEDAL]**:第Ⅰ手鍵盤と足鍵盤の音量を同時に連続調整します。

[MAN. I /PEDAL]ペダルはクレッシェンドペダルとしても機能します(25ページ参照)。

ペダルの1つにはオーケストラボイスのサステイン効果を調節するためのレバーシステムが組み込まれています。

㉓ リア接続パネル

本機の背面には、外部スピーカーシステムに接続するための端子が搭載されています。

- **[GEN. SUB]**:低域音再生用スピーカー(サブウーファー)を接続するための専用の出力端子です。
- **[EXT. +12V DC]**: [OUT 1]端子および[OUT 2]端子に接続されたバイカウント製スピーカーに、+12Vの電源を供給します。
- **[OUT 1]/[OUT 2]**:本機のオーディオ信号を出力するステレオ端子です。

3. 電源を入れる/メイン画面

本機の電源を入れると、オープニング画面が表示されます。



次に、現在のオペレーティングシステムのバージョン(Release)が表示されます。



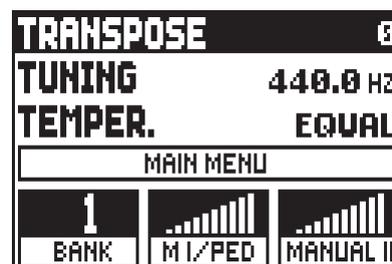
数秒後にメイン画面が表示されます。



Chorum 90



Chorum 60



Chorum 40/S40

メイン画面の上段には、以下のパラメーターが表示されます。

TRANSPOSE	移調の設定
TUNING	A3(8'パイプ)の周波数でのピッチ
TEMPER.	テンペラメント(古典調律法)の設定

3. 電源を入れる/メイン画面

メイン画面の中段には、「MAIN MENU」が表示されます。

「MAIN MENU」からは、オルガン設定すべてに関するメインメニューにアクセスできます。メインメニューに入るには、カーソルをこの項目に合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

メイン画面に戻るには [EXIT] ボタンを押します。

メイン画面の下段には、使用モデルによって2～4つの欄の中に以下の項目が表示されます。

BANK	現在選択しているメモリーバンクが表示されます。メモリーバンクは1～16まであります。 [S] ボタンを押しながら [PREV] ボタンまたは [NEXT] ボタンを押すと、メモリーバンクを選択することができます。
CRESC. または CRESCEN.	現在選択しているクレッシェンドの段階
MANUAL II または MAN II	第II手鍵盤のエクスペッションレベル
MAN III	第III手鍵盤のエクスペッションレベル
MAN I	第I手鍵盤のエクスペッションレベル
M I / PED	第I手鍵盤と足鍵盤のエクスペッションレベル

<項目の選択とパラメーターの設定>

各画面でカーソルを移動するには、[FIELD ▲]/[FIELD ▼] ボタンを使用します。カーソルを合わせた項目は反転表示されます。

パラメーターの値を調節するときは、カーソルを項目に合わせ、[VALUE +]/[VALUE -] ボタンを押します。

パラメーター値の範囲に中心値がある場合(例: -6/0/+6)、[VALUE +]/[VALUE -] ボタンを同時に押すと中心値を選択することができます。

メモ:

- 本機の電源を入れたとき、トランスポジションの値は常にゼロに設定されます。
- トランスポジション設定は、本機の内蔵シーケンサーのソング再生には影響を及ぼしません(ただし録音時には、現在のトランスポジション設定で音符が録音されます)。そのため移調して曲を再生したいときは、必要に応じて専用のトランスポージャーを使用します(45ページ参照)。
- 本機の電源を入れたときに、「RELEASE CHECKSUM ERROR」(リリースチェックサムのエラーです)というメッセージが表示された場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。その際は、エラーメッセージの2行目にあるエラータイプ(SYSTEMまたはMODEL)と、「M」/「V」/「S」/「Release」に表示されている番号をお知らせください。本機をリセットするために必要なファイルと情報をお送りします。
- 本機の電源を入れたときに、「PERIPHERALS UPDATE REQUESTED」(機器のアップデートが必要です)というメッセージが表示された場合は、[ENTER] ボタンを押してオペレーティングシステムのアップデートを行なってください。それでも再度このメッセージが表示された場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。その際、画面に表示されたメッセージの内容をお知らせください。

3.1 メインメニュー(MAIN MENU)

メインメニューには、いくつかのサブメニューがグループに分かれており、本機のすべての設定ができます。メイン画面で「MAIN MENU」を選択すると、以下の画面が表示されます。



メイン画面と同様、カーソルを移動するには、[FIELD ▲]/[FIELD ▼] ボタンを使用します。カーソルを合わせた項目は反転表示されます。

項目によっては、選択して [ENTER] ボタンを押すと、別の画面が表示されるものもあります。このタイプの項目が選択されると、ボタン名が項目の右側に表示されます。項目が調整可能なパラメーターの場合は、現在の設定値が表示されます。[VALUE +]/[VALUE -] ボタンを使って、パラメーターの値を変更できます。

以下のメニューにアクセスできます。

SETTINGS	オルガン全体の設定、イコライザー設定、MIDI インターフェース設定、オーディオ出力設定、工場出荷時の初期設定へのリセット(誤作動がある場合)(25ページ参照)
STYLE	オルガンスタイルの設定(37ページ参照)
COMBIN. PRG	MIDI プログラムチェンジ/バンクセレクトメッセージのコンビネーションへの追加(40 ページ参照)
FILE	設定の保存/読み込み(USBメモリー使用)(41ページ参照)
DEMO	本機でのデモソング演奏(53ページ参照)

4. ボリュームの設定 (VOLUMES機能)

オルガンの各セクション間や外部／内蔵アンプ間での音量バランスを調節できます。音量を調節するには、[VOLUMES] ボタンを押します。

全体の音量は鍵盤下の[MASTER VOLUME]つまみで調節できます。

鍵盤ごとの音量はこの画面から調節できます。音量の調節範囲はMIN(最小: -17dB)からMAX(最大: -1dB)までとなります。

▶ VOLUMES	
PEDAL -3dB	OUT 1 MAX
MAN I -4dB	OUT 2 -15dB
MAN II MAX	SUB -3dB
MAN III -5dB	INPUT OFF

Chorum 90

▶ VOLUMES	
PEDAL -3dB	OUT 1 -11dB
MAN I -2dB	OUT 2 MAX
MAN II -11dB	SUB MAX
	INPUT -15dB

Chorum 60/40/S40

以下の音量を調節できます。

PEDAL	足鍵盤の音量
MAN I	第 I 手鍵盤の音量
MAN II	第 II 手鍵盤の音量
MAN III	第 III 手鍵盤の音量
OUT 1	リア接続パネルの [OUT 1] 端子からの音量
OUT 2	リア接続パネルの [OUT 2] 端子からの音量
SUB	リア接続パネルの [GEN. SUB] 端子からの音量
INPUT	フロント接続パネルの [INPUT] 端子で受信した信号の音量

前の画面に戻るには [VOLUMES] ボタンまたは [EXIT] ボタンを押します。または、5秒間何も操作しないと前の画面に戻ります。

5. 一般設定 (SETTINGSメニュー)

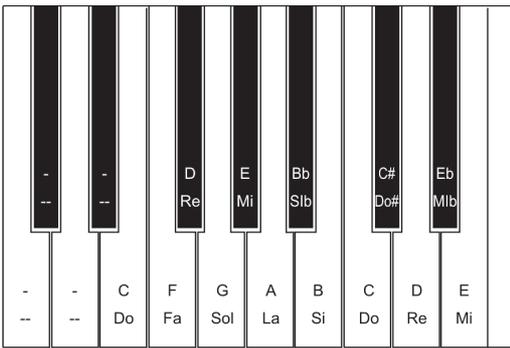
SETTINGSメニューを使って本機の機能を設定できます。SETTINGSメニューにアクセスするには、メインメニューで「SETTINGS」を選択します。

▶ SETTINGS	PAGE 1/3
REVERB	CATHEDRAL
KEYB.INVERS.	NO
SHORT OCTAVE	NO
EQUALIZERS ▶	[ENTER]

▶ SETTINGS	PAGE 2/3
EXT.OUTPUTS ▶	[ENTER]
MIDI ▶	
VEL.SENS. ▶	
COMBINATIONS ▶	
CRESC/EXPR	CRESC.

▶ SETTINGS	PAGE 3/3
SECURITY ▶	[ENTER]
LCD CONTRAST	5
FACTORY SETT. ▶	
SYSTEM ▶	

以下の項目を設定できます。

REVERB	残響効果を設定します(26ページ参照)。
KEYB.INVERS.	手鍵盤反転機能のオン/オフを切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> • YES: 第 I 手鍵盤のストップを第 II 手鍵盤で、または第 II 手鍵盤のストップを第 I 手鍵盤で演奏します。 • NO: 機能をオフにします。
SHORT OCTAVE	ショートオクターブのオン/オフを切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> • YES: 足鍵盤と手鍵盤の第 1 オクターブでショートオクターブを使用します。16～18 世紀頃のオルガン用に作曲された楽曲を演奏するときが必要です。 • NO: 機能をオフにします。  <p style="text-align: center;">第 1 オクターブの音符構成</p>
EQUALIZERS	イコライザー、内蔵アンプ、リア接続パネルの出力端子を設定します(27ページ参照)。
EXT.OUTPUTS	リア接続パネルの[OUT 1]/[OUT 2]端子から出力されるオーディオ信号を選択します(29 ページ参照)。
MIDI	MIDIインターフェースを設定します(29ページ参照)。
VEL.SENS.	オーケストラストップを使用したり、MIDI ノートメッセージを送信するときの手鍵盤および足鍵盤のペロシティを調整します(32ページ参照)。
COMBINATIONS	コンビネーションをカスタマイズします(32ページ参照)。
CRESC/EXPR	[CRESCENDO]ペダルまたは[MAN. I/PEDAL]ペダルの動作モードをクレッシェンド用またはボリューム調節用に設定します。ボリューム調節の場合、Chorum 90では第 II 手鍵盤、Chorum 60では第 I 手鍵盤、Chorum 40/S40では第 I 手鍵盤/足鍵盤のボリュームを調節します。
SECURITY	本機の設定、コンビネーション、トゥッティ、クレッシェンドが変更されないようにロックをかけるためのパスワードを設定します(34ページ参照)。
LCD CONTRAST	ディスプレイのコントラストを調節します。
FACTORY SETT.	工場出荷時の初期設定にリセットします(36ページ参照)。
SYSTEM	オペレーティングシステムのアップデートとバージョン確認を行ないます。

各項目にアクセスするには、[FIELD ▲]/[FIELD ▼]ボタンで項目にカーソルを合わせ、[ENTER]ボタンを押します。SETTINGSメニューを終了するには、[EXIT]ボタンを押します。

5.1 リバーブタイプの選択(REVERB機能)

リバーブとは、閉ざされた室内で一連の音が反射することで生み出される残響効果のことです。各反射音の響きかたは、部屋大きさ、室内にある物体の数や材質、聴き手の位置など、室内環境の多くの要因によって異なります。本機のデジタルプロセッサは、真のパイプオルガンで弾いたときに生じる残響音に影響する複雑な要因を人工的に再現し、適切なリバーブをかけることによって、優れた音質にさらに磨きをかけます。REVERB機能を使用すれば、反射音の大きい大聖堂から、短く柔らかい反射音を持つ小さな教会に至るまで、さまざまな種類のリバーブを選ぶことができます。リバーブタイプを選択するには、SETTINGSメニューで「REVERB」を選択します。

以下のリバーブタイプを選択できます。

CATHEDRAL	大聖堂のリバーブ
BASILICA	バシリカ様式教会のリバーブ
GOthic CHURCH	ゴシック様式教会のリバーブ
BAROQUE CHURCH	バロック様式教会のリバーブ
ROMANIC CHURCH	ロマネスク様式教会のリバーブ
MODERN CHURCH	モダン様式教会のリバーブ
PARISH	教区教会堂のリバーブ
CAPPELLA	礼拝堂のリバーブ

[EXIT] ボタンを押すと設定内容が保存され、前の画面に戻ります。

フロント接続パネルの[REVERB VOLUME]つまみを使って、リバーブ効果のレベルを調整できます。

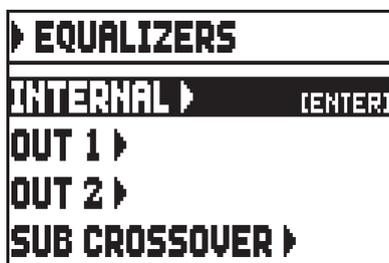
メモ:

内蔵リバーブはフロント接続パネルの[INPUT]端子から入力される信号にもかかります。

5.2 イコライザーの調節(EQUALIZERS機能)

本機には3つのグラフィックイコライザーが装備されており、1つは内蔵スピーカーのサウンド用、あとの2つはリア接続パネルにある[OUT 1]/[OUT 2]端子のオーディオ出力用に使用されます。また[GEN. SUB]端子専用のローパスイコライザーもあります。本機で演奏されたサウンドをその場の状況や演奏者の必要性、好みに合わせて、イコライザーで調節することができます。

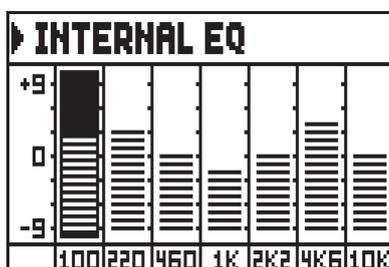
イコライザーを調節するには、SETTINGSメニューで「EQUALIZERS」を選択します。



以下のイコライザーを調節できます。

INTERNAL	内蔵アンプ/スピーカー用のグラフィックイコライザー
OUT 1	リア接続パネルの[OUT 1]端子用のグラフィックイコライザー
OUT 2	リア接続パネルの[OUT 2]端子用のグラフィックイコライザー
SUB CROSSOVER	リア接続パネルの[GEN. SUB]端子用のローパスフィルターのイコライザー

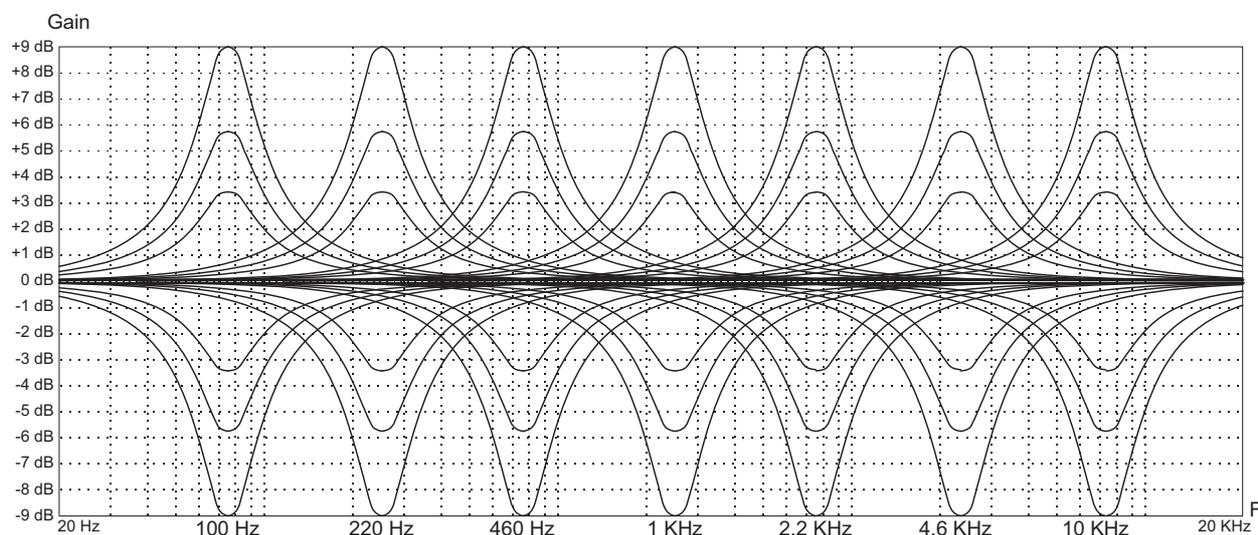
以下の画面はグラフィックイコライザーの調節画面です。



画面下部には7つの帯域の中心周波数が表示されています。カーソルをバンド間で移動するには、[FIELD ▲]/[FIELD ▼]ボタンを使用します。

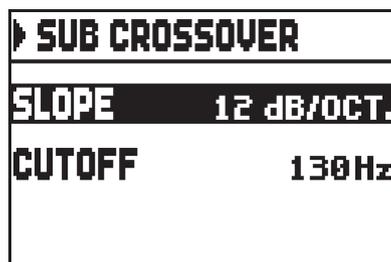
各バンドは+9dB(最大ゲイン値)~-9dB(最大減衰値)の範囲で[VALUE +]/[VALUE -]ボタンを使用して調節できます。ゲインや減衰のレベルがグラフで表示され、そのレベルは左端の目盛りでわかります。

以下のグラフはグラフィックイコライザーの効果を表しています。



5. 一般設定 (SETTINGSメニュー)

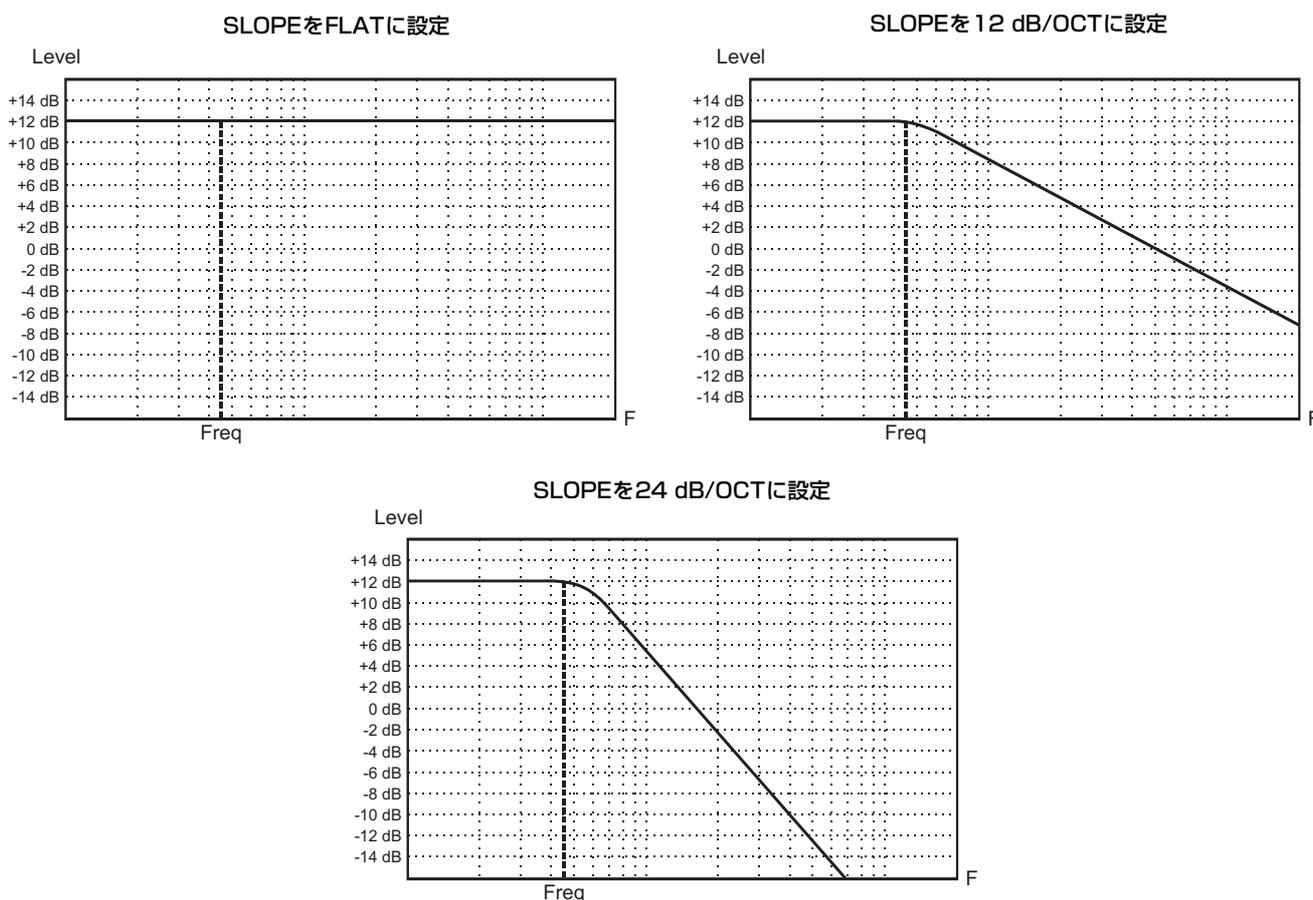
リア接続パネルの[GEN. SUB]端子を使って、低域のサブウーファーオーディオシステムに接続できます。ローパスフィルターのイコライザーを搭載しており、傾きとカットオフ周波数を調節できます。EQUALIZERSメニューで「SUB CROSSOVER」を選択します。



以下のパラメーターを設定できます。

SLOPE	フィルターの傾きを「FLAT(フィルターはオフ)」、「12 dB/OCT.」、「24 dB/OCT.」のいずれかに設定します。傾きが大きいほど周波数が高くなるに連れて信号のフィルターも速くなります。
CUTOFF	フィルターのカットオフ周波数を80～300Hzの間で調節します。

以下のグラフはこのイコライザーの効果を表しています。



どのイコライザーでも[EXIT]ボタンを押すと設定内容が保存され、前の画面に戻ります。

メモ:

イコライザーの効果はフロント接続パネルの[INPUT]端子から入力される信号にもかかります。

5.3 オーディオ出力の設定(EXTERNAL OUTPUTS機能)

リア接続パネルの出力端子から送信する音源を選択できます。パイプオルガンの風箱の位置を再現するように外部スピーカーを配置したり、リバーブがかかった信号のみを出力したりすることができます。

オーディオ出力を設定するには、SETTINGSメニューで「EXT. OUTPUTS」を選択します。

EXTERNAL OUTPUTS		
	OUT 1	OUT 2
PEDAL	▼	▼
MANUAL I	▼	▼
MANUAL II	▼	▼
MANUAL III	▼	▼
REVERB	▼	▼
INPUT	▼	▼

Chorum 90

EXTERNAL OUTPUTS		
	OUT 1	OUT 2
PEDAL	▼	▼
MANUAL I	▼	▼
MANUAL II	▼	▼
REVERB	▼	▼
INPUT	▼	▼

Chorum 60/40/S40

この画面には2つのオーディオ出力(OUT 1/OUT 2)欄が表示されます。

[FIELD ▲]/[FIELD ▼]ボタンでカーソルを移動します。

音源を選択するには[VALUE +]ボタンを押します。選択された項目にはチェックマークが表示されます。

チェックマークを削除して音源の選択を外すには、[VALUE -]ボタンを押します。

[EXIT]ボタンを押すと設定内容が保存され、前の画面に戻ります。

メモ:

リバーブのかかった信号(REVERB)にはすべてのオルガンセクションと、フロント接続パネルの[INPUT]端子からの信号が常に含まれています。

5.4 MIDIインターフェースの設定(MIDI機能)

メモ:

MIDIインターフェースの詳細については、55ページ、57ページをご覧ください。

MIDIインターフェースを設定するには、SETTINGSメニューで「MIDI」を選択します。

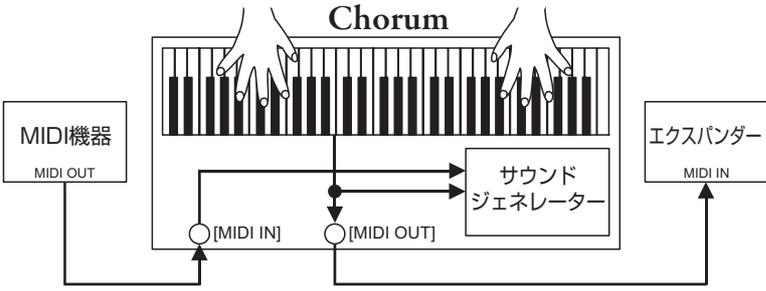
MIDI	
CHANNELS ▶	[ENTER]
FILTERS ▶	
NOTES TO COUPL.	YES
OUT MODE	OUT

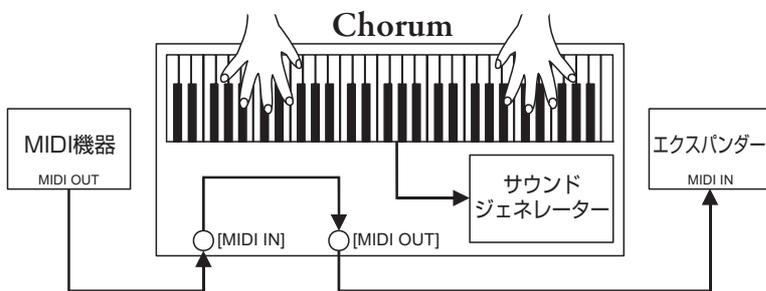
以下の項目を設定できます。

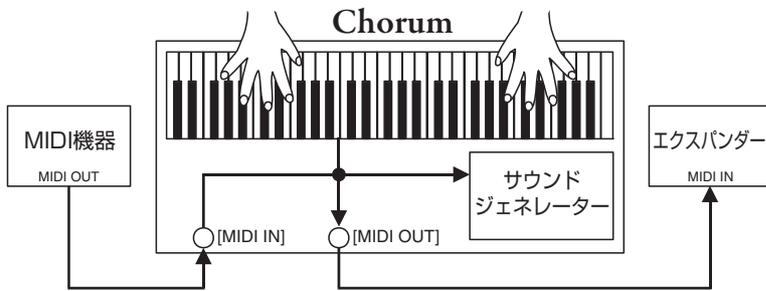
CHANNELS	MIDI受信/送信チャンネルを設定します(31ページ「入出力チャンネルの選択(MIDI CHANNELS機能)」参照)。
FILTERS	データ送受信時のMIDIフィルターを設定します(31ページ「フィルター設定(MIDI FILTERS機能)」参照)。
NOTES TO COUPL.	MIDIで送信するノートを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • YES: 実際に手鍵盤上で弾いたノートと、カブラーのかけ外しによるノートの両方を送信します。例えば II / P のカブラーがかかっているときに足鍵盤で弾くと、足鍵盤からのノートが足鍵盤の MIDI チャンネルと第 II 手鍵盤の MIDI チャンネルの両方で送信されます。 • NO: 実際に弾いたノートのみが送信されます(上記の例では、足鍵盤のチャンネルでのみノートが送信されます)。

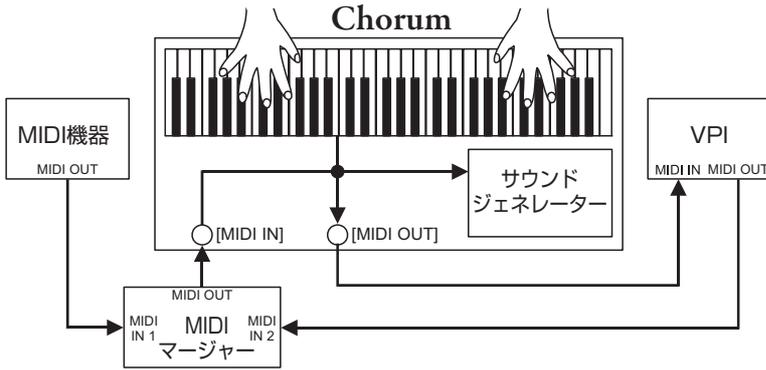
[MIDI OUT] 端子の動作モードを以下から選択します。

- OUT:** 動作を検知すると(例: 鍵盤を弾く、ストップを選択する、ボリュームペダルやエクスプレッションペダルを操作する、コンビネーションを呼び出す、など)、MIDIデータが送信されます。


- THRU:** [MIDI OUT] 端子は [MIDI IN] 端子で受信した MIDI データのみを送信します。本機での操作データは送信されません。本機が MIDI システムの一部となっている場合にこの選択肢を使います。本機の MIDI 出力に接続されている楽器/機器は、本機上での操作には応答せず、本機の [MIDI IN] 端子に送信している楽器/機器からのデータのみを受信します。


- OUT+THRU:** [MIDI OUT] 端子は、本機上での操作に関する MIDI データと、[MIDI IN] 端子で受信したデータの両方を送信します。本機が MIDI システムの一部となっている場合にこの選択肢を使います。受信側楽器/機器は、本機上で生成されたデータと、[MIDI IN] 端子に接続された楽器/機器からのデータの両方に応答します。


- PIPE:** [MIDI OUT] 端子は、本機上での操作による MIDI データと、[MIDI IN] 端子で受信したデータの両方を送信します。MIDI シーケンサーなどの外部機器から MIDI プログラムチェンジメッセージを受信してコンビネーションが呼び出されると(57 ページ参照)、本機はコンビネーションの内容(ストップ、カプラー、トレモロ)を [MIDI OUT] 端子に送信します。本機がデジタルパイプインターフェース **VPI** (Viscount Pipe Interface) に接続されているときは、双方の互換性を完全に保つために、必ずこのモードに設定してください(VPIは日本国内での取り扱いはありません)。



OUT MODE

<入出力チャンネルの選択(MIDI CHANNELS機能)>

本機は各セクションごとに1つのチャンネルでMIDIメッセージを送受信します。MIDIチャンネルを設定するには、MIDIメニューで「CHANNELS」を選択します。

▶ MIDI CHANNELS		
	TX	RX
PEDAL	4	4
MANUAL I	3	3
MANUAL II	2	2
MANUAL III	1	1

Chorum 90

▶ MIDI CHANNELS		
	TX	RX
PEDAL	4	4
MANUAL I	2	2
MANUAL II	1	1

Chorum 60/40/S40

左の欄にはオルガンの各セクション名が表示されます。セクションごとにTX(送信チャンネル)とRX(受信チャンネル)を設定できます。OFFの場合は、該当セクションのMIDIメッセージすべての送受信がオフになります。[EXIT]ボタンを押すと設定内容が保存され、前の画面に戻ります。

<フィルター設定(MIDI FILTERS機能)>

MIDIフィルターを設定すると、(信号がMIDIチャンネルで送信される場合に)すべてのMIDIチャンネルで特定のメッセージのみをブロックすることができます。

たとえば、コントロールチェンジフィルターは、本機のMIDIチャンネルすべてで、[MIDI OUT]端子でのMIDIコントロールチェンジメッセージをブロックします。同様に、受信フィルターで[MIDI IN]端子での全チャンネルのプログラムチェンジがブロックされると、コンビネーション、トゥッティ、クレッシェンドの呼び出しが実行されません。

MIDIフィルターを設定するには、MIDIメニューで「FILTERS」を選択します。

▶ MIDI FILTERS		
	TX	RX
CONTROL	NO	NO
PROGRAM	NO	NO
SYSEX	NO	NO
REAL TIME	YES	YES

左の欄にはフィルターできるMIDIメッセージが表示されます。

- CONTROL: コントロールチェンジ
- PROGRAM: プログラムチェンジ
- SYSEX: システムエクスクルーシブ
- REAL TIME: リアルタイム

TX(送信チャンネル)、RX(受信チャンネル)欄でMIDIメッセージごとに送受信の状態を変更します。「YES」を選択するとフィルターがオンに、「NO」を選択するとオフになります。フィルターがオンのときは該当MIDIメッセージが送受信されません。

5.5 ノートベロシティの調節(VELOCITY SENS.機能)

この機能は、セクションごとにオーケストラストップで演奏され[MIDI OUT]端子から送信されるノートのベロシティ(鍵を弾く強弱)を設定します。

ノートベロシティを設定するには、SETTINGSメニューで「VEL.SENS.」を選択します。

▶ VELOCITY SENS.	
PEDAL	90 FIX
MANUAL I	NORMAL
MANUAL II	NORMAL
MANUAL III	NORMAL

Chorum 90

▶ VELOCITY SENS.	
PEDAL	90 FIX
MANUAL I	NORMAL
MANUAL II	NORMAL

Chorum 60/40/S40

各セクションで固定値(1~127 FIX)または3種類のダイナミックカーブ(LIGHT、NORMAL、HEAVY)を設定します。
[EXIT]ボタンを押すと設定内容が保存され、前の画面に戻ります。

メモ:

足鍵盤セクションでは、ダイナミックカーブ(LIGHT/NORMAL/HEAVY)を選択できません。

5.6 コンビネーションの設定(COMBINATIONS機能)

ジェネラル/ディヴィジョンコンビネーションとトゥットィの設定、およびディヴィジョンコンビネーションの呼び出しモードを選択できます。

コンビネーション設定を変更するには、SETTINGSメニューで「COMBINATIONS」を選択します。

▶ COMBINATIONS	
SAVE ENC+AP	NO
SAVE MIDI PIST.	YES
SAVE ST/TR/OR	NONE
SAVE COUPL.	GEN+DIV
PISTON CMB	NONE

ディヴィジョンコンビネーション
のあるモデル

▶ COMBINATIONS	
SAVE ENC+AP	NO
SAVE MIDI PIST.	YES
SAVE ST/TR/OR	NONE

ディヴィジョンコンビネーション
のないモデル

以下のパラメーターを設定できます。

SAVE ENC+AP	[ENC]/[A.P]ボタン(19ページ⑩項参照)の状態の保存方法を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • YES: ジェネラルコンビネーションに保存します。 • NO: ジェネラルコンビネーションに保存しません。
SAVE MIDI PIST.	MIDIセクション(19ページ⑩項参照)の状態の保存方法を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • YES: ジェネラル/ディヴィジョンコンビネーションに保存します。 • NO: ジェネラル/ディヴィジョンコンビネーションに保存しません。

<p>SAVE ST/TR/OR</p>	<p>オルガンのスタイル、トレモロの速さと深さの値、オーケストラストップを以下の選択肢を使用して保存します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NONE: オルガンのスタイル、トレモロパラメーター、オーケストラストップを保存しません。 • STYLE: 現在選択されているオルガンのスタイルを保存して、あとでジェネラルコンビネーションおよびトゥッティで呼び出すことができます。スタイルの選択については、19 ページ④項をご覧ください。 • TREM: 現在のトレモロの速さと深さの値を保存して、あとでジェネラル/ディヴィジョンコンビネーションおよびトゥッティでコントロールできます。トレモロの調整については、38 ページをご覧ください。 • ORCH: 現在選択されているオーケストラストップを保存して、あとでジェネラル/ディヴィジョンコンビネーションおよびトゥッティでコントロールできます。オーケストラストップの選択については、39 ページをご覧ください。 • TR+OR: 現在のトレモロの速さと深さの値と選択されているオーケストラストップを保存して、あとでジェネラル/ディヴィジョンコンビネーションおよびトゥッティでコントロールできます。
<p>SAVE COUPL.</p>	<p>カブラーかけ外しの状態の保存方法を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • GENERAL: ジェネラルコンビネーションのみに保存します。 • GEN+DIV: ジェネラル/ディヴィジョンコンビネーションに保存します。
<p>PISTON CMB</p>	<p>第Ⅱ手鍵盤(Chorum 90)または第Ⅰ手鍵盤(Chorum 60/40/S40)のディヴィジョンコンビネーションを同期します。以下の選択肢があります。</p> <p><Chorum 90></p> <ul style="list-style-type: none"> • MⅡ→P: 第Ⅱ手鍵盤のディヴィジョンコンビネーションを呼び出して、該当する(同じ番号の)足鍵盤コンビネーションをオンにします。 • P→MⅡ: 足鍵盤のディヴィジョンコンビネーションを呼び出して、該当する(同じ番号の)第Ⅱ手鍵盤のコンビネーションをオンにします。 • MⅡ+P: 第Ⅱ手鍵盤または足鍵盤のディヴィジョンコンビネーションを呼び出して、該当する(同じ番号の)他のディヴィジョンのコンビネーションをオンにします。 <p><Chorum 60/40/S40></p> <ul style="list-style-type: none"> • MⅠ→P: 第Ⅰ手鍵盤のディヴィジョンコンビネーションを呼び出して、該当する(同じ番号の)足鍵盤コンビネーションをオンにします。 • P→MⅠ: 足鍵盤のディヴィジョンコンビネーションを呼び出して、該当する(同じ番号の)第Ⅰ手鍵盤のコンビネーションをオンにします。 • MⅠ+P: 第Ⅰ手鍵盤または足鍵盤のディヴィジョンコンビネーションを呼び出して、該当する(同じ番号の)他のディヴィジョンのコンビネーションをオンにします。

[EXIT] ボタンを押すと設定内容が保存され、前の画面に戻ります。

5.7 セキュリティーの設定(SEcurity機能)

設定を誤って変更しないよう、SECURITY機能を使用してロックします。この機能をオンにすると、コンビネーション、トゥッティ、クレッシェンドの段階、およびローカルオフストップを変更できなくなります。メイン画面のチューニングパラメーターとオルガンスタイルは、この機能がオンでも変更できます。

セキュリティー設定を変更するには、SETTINGSメニューで「SECURITY」を選択します。



以下の項目を設定できます。

SETTINGS	本機の全般的な設定 (SETTINGSメニュー) のロック
STYLES	オルガンスタイルの設定 (STYLESメニュー) のロック
COMBINAT.	コンビネーション、トゥッティ、クレッシェンドの設定のロック
SET PASSWORD	パスワードの設定

<項目のロック>

1. 「LOCKED」と表示されている項目を選択します。
2. [EXIT] ボタンを押します。
パスワードを入力する画面が表示されます。



3. 以下の手順でパスワードを入力します (工場出荷時のパスワードは「0000」です)。
 - [VALUE +]/[VALUE -] ボタンで文字を選択します。
 - [FIELD ▲]/[FIELD ▼] ボタンでカーソルを移動します。
4. [ENTER] ボタンを押してパスワードを保存します。
[EXIT] ボタンを押すと操作が中止されます。

「SECURITY OPTIONS SUCCESSFULLY CHANGED」(セキュリティー設定が変更されました) というメッセージが表示され、項目がロックされます。

項目がロックされると、設定を変更しようとしても以下のメッセージが表示され、変更できません。

- 「SETTINGS ARE LOCKED」(設定がロックされています) と表示されたあと、SETTINGSメニューに入ります。
- 「STYLES ARE LOCKED」(スタイルがロックされています) と表示されたあと、STYLESメニューに入ります。

コンビネーション、トゥッティ、クレッシェンドがロックされていると、[S] ボタンが消灯します。

<項目のロック解除>

1. 「UNLOCKED」と表示されている項目を選択します。
2. [EXIT]ボタンを押します。
パスワードを入力する画面が表示されます。
3. パスワードを入力します。

パスワードが正しければ「SECURITY OPTIONS SUCCESSFULLY CHANGED」(セキュリティー設定が変更されました)というメッセージが表示され、ロックが解除されます。

パスワードが間違っていると、「WRONG PASSWORD RETRY」(パスワードが間違っています。もう一度入力してください)というメッセージが表示されます。正しいパスワードを入力してください。

<既存のパスワードの変更>

項目がすでにロックされていても、以下の手順でパスワードを変更できます。

1. SECURITYメニューで「SET PASSWORD」を選択します。
2. 現在のパスワードを入力します。



3. 新しいパスワードを入力します。



パスワードが正しく変更されると、以下の確認メッセージが表示されます。



4. [EXIT]ボタンを押してSECURITY画面に戻ります。

5.8 工場出荷時設定へのリセット(FACTORY SETTINGS機能) (誤作動があった場合)

本機では工場出荷時の初期設定にリセットする項目を選択できます。
工場出荷時の初期設定にリセットするには、SETTINGSメニューで「FACTORY SETT.」を選択します。



どの項目をリセットするか選択します。

ALL	すべてのオルガン設定
COMBINATIONS	すべてのジェネラル/ディヴィジョンコンビネーション、トゥッティ、クレッシェンド(搭載モデルのみ)の設定
STYLE - ALL	すべてのオルガンスタイルの設定
STYLE - CURR.	現在選択しているオルガンスタイルの設定
SETTINGS	SETTINGSメニューの設定

リセットする項目を選択し、[ENTER]ボタンを押します。リセットする内容が表示されます。



リセットを続ける場合は[ENTER]ボタンを押します。中止する場合は[EXIT]ボタンを押します。

リセットが完了すると、「FACTORY SETTINGS SUCCESSFULLY RECALLED」(工場出荷時の初期設定が呼び出されました)というメッセージが表示されます。

「SOME PARAMETERS ARE LOCKED」(パラメーターの一部がロックされています)というメッセージが表示された場合は、リセットを実行できません。セキュリティー設定(34ページ参照)を確認してください。

6. オルガンスタイルの設定 (STYLEメニュー)

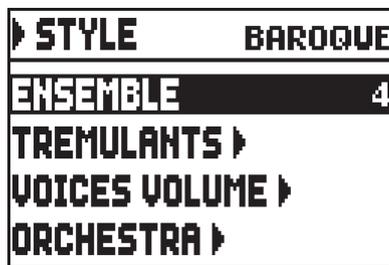
STYLE メニューで、オルガンの音源設定を選択できます。それぞれのストップが設定された音を演奏します。オルガンのスタイルを多数使用できるので、複数の異なる楽器を同じ場所で同時に演奏しているかのようにさまざまな音源設定を使用することができます。

本機には4つのスタイルがあり、それぞれ専用のボタンで選択できます。

[BAR]	バロック
[BRK]	北ドイツバロック
[ROM]	ロマンティック
[SYM]	シンフォニック

スタイルを選択すると、メイン画面にその名前が表示されます。これら4つのプログラムは、それぞれのセクション、ストップの音量、オーケストラボイスについてカスタマイズ可能で、お好みのスタイルでパイプ、トレモロ速さと深さ、ボイスを調節できます。

スタイルを変更するには、まず目的のスタイルを呼び出し、つぎにメインメニューで「STYLE」を選択します。



以下の項目を設定できます。

ENSEMBLE	オルガンのパイプとパイプの間の微妙なピッチのずれのレベルを表示します。年月とともに進行する摩耗や温度変化によって自然に発生するチューニングの誤差をシミュレートしたものです。値は「0」(パイプのチューニングが完全に合っている状態)から「8」(ピッチの差異が最大の状態)までを選択できます。
TREMULANTS	各手鍵盤のトレモロの速さと深さを設定します(38ページ参照)。
VOICES VOLUME	各ストップのボリュームを設定します(38ページ参照)。
ORCHESTRA	各オーケストラボイスのボリュームを設定します(39ページ参照)。

各項目にアクセスするには、[FIELD ▲]/[FIELD ▼]ボタンで項目にカーソルを合わせ、[ENTER]ボタンを押します。STYLEメニューを終了するには、[EXIT]ボタンを押します。

メモ:

ディヴィジョンまたはジェネラルコンビネーションとトゥッティは、コンビネーション保存時に使用していたスタイルを呼び出すことができます。ただしコンビネーションにスタイルを保存するには、COMBINATIONS機能で設定する必要があります(32ページ参照)。

6.1 トレモロの調節(TREMULANTS機能)

パイプオルガンで安定した持続音を演奏するためには風圧を一定に保つことが最も重要です。しかし、この空気の流りに周期的変化を持たせるための機構が本機には搭載されています。この周期的変化によってサウンドに「トレモロ(震音)」効果が生まれ、Vox Humana などの主旋律を演奏するレジスターのサウンドでは、心地良く伸びやかに聴こえたり、リード楽器の音色に華やかさが加わったりします。[Tremulant]ストップを使用しこの効果をオン/オフします。それぞれのスタイルでトレモロの速さと深さを調節できます。トレモロを調節するには、STYLEメニューで「TREMULANTS」を選択します。

▶ TREMULANTS		
	SPD	DPT
MANUAL I	16	16
MANUAL II	16	16
MANUAL III	16	16

Chorum 90

▶ TREMULANTS		
	SPD	DPT
MANUAL I	16	16
MANUAL II	16	16

Chorum 60/40/S40

左の欄には手鍵盤の各セクション名が表示されます。セクションごとにトレモロの速さ (SPD) と深さ (DPT) の値を設定できます。

[EXIT] ボタンを押すと設定内容が保存され、前の画面に戻ります。

メモ:

ディヴィジョンまたはジェネラルコンビネーションとトゥッティは、トレモロパラメーターの速さと深さの値を呼び出すことができます。コンビネーションにトレモロの速さと深さを保存するには、COMBINATIONS機能で設定する必要があります(32ページ参照)。

6.2 各ボイスのボリューム調節(VOICES VOLUME機能)

各ストップの音量を-12 dB~+6 dBの範囲で調節することで、オルガン全体のサウンドの完璧な音量バランスを得ることができます。

各ボイスのボリュームを調節するには、STYLEメニューで「VOICES VOLUME」を選択します。

▶ VOICES VOLUME	
PEDAL	[ENTER]
MANUAL I	
MANUAL II	
MANUAL III	

Chorum 90

▶ VOICES VOLUME	
PEDAL	[ENTER]
MANUAL I	
MANUAL II	

Chorum 60/40/S40

[FIELD ▲]/[FIELD ▼] ボタンで、ボリュームを調節したいセクションにカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

MANUAL I	PAGE 1/3
Bourdon 16	+3
Principal 8	+1
Rohrflöte 8	-2
Viola 8	0
Octave 4	+4

ボリュームの調節中はストップがオンの状態になるので、演奏しながら正確かつ迅速に調節が行なえます。他のストップも同様にオンにすれば、設定が全体的にどのような効果を及ぼすか確認できます。[EXIT] ボタンを押すと設定内容が保存され、前の画面に戻ります。変更された設定値は現在のオルガンスタイルに保存されます。

6.3 オーケストラボイスの選択(ORCHESTRA機能)

本機にはオーケストラボイスが搭載されています。モデルによって異なりますが、オーケストラボイスの設定は、オーケストラセクション内のストップ、または他のオーケストラボイスが割り当てられたオーケストラ専用のストップで行なえます。オーケストラボイスを割り当てられるストップのリストは、ウェブサイト(<http://www.viscountinstruments.com/>)からダウンロードできます。

オーケストラボイスを選択するには、STYLEメニューで「ORCHESTRA」を選択します。

ORCHESTRA	
PED	CELLO
M I	PIANO
M II	STRINGS
M III	CHIMES

Chorum 90

ORCHESTRA	
PED	KLARINE 4
M I	PIANO
M II	VOX CELESTE 8

Chorum 60/40/S40

[VALUE +]/[VALUE -] ボタンで各セクションのストップを選択します。選択したストップが点灯します。[EXIT] ボタンを押すと設定内容が保存され、前の画面に戻ります。変更内容は、現在のオルガンスタイルに保存されます。

メモ:

ディヴィジョンまたはジェネラルコンビネーションとトゥッティは、オーケストラボイスを呼び出すことができます。各ストップは現在のコンビネーションまたはトゥッティの設定に従い異なるボイスで演奏できます。コンビネーションにオーケストラボイスを保存するには、COMBINATIONS機能で設定する必要があります(32ページ参照)。

7. MIDIメッセージの保存 (COMBINATION PRGメニュー)

MIDI プログラムチェンジを使用して、接続した機器で特定のサウンドやプログラム(音色パッチ)を呼び出すことができます。[MIDI OUT]端子に接続したエクスペンダーなどの外部モジュールから任意の音色を選択できます。また、バンクセレクトメッセージMSB(CC n.0)とLSB(CC n.20)を送信することで、外部音源からストップのバンクを選択することもできます。

COMBINATION PRGメニューにアクセスするには、メインメニューで「COMBIN. PRG」を選択します。

COMBINATION PRG			
	PRG	BANK	
		MSB	LSB
PEDAL	OFF	0	0
MAN I	OFF	0	0
MAN II	OFF	0	0
MAN III	OFF	0	0

Chorum 90

COMBINATION PRG			
	PRG	BANK	
		MSB	LSB
PEDAL	OFF	0	0
MAN I	OFF	0	0
MAN II	OFF	0	0

Chorum 60/40/S40

左の欄にはオルガンの各セクション名、PRG欄とBANK MSB/LSB欄には対応するプログラムチェンジとMSB/LSBバンクセレクトメッセージが表示されます。この画面に表示されている MIDI メッセージは該当するセクションにすぐに送信され、ジェネラル/ディヴィジョンコンビネーション、およびトゥットィのメモリーに保存されます。これを実行するには、プログラムチェンジ、バンクセレクトを選択し、これらのMIDIメッセージを保存したいメモリーを選択します。この操作は、外部エクスペンダーを使って、本機のボイスと他のストップを組み合わせたときに便利です。

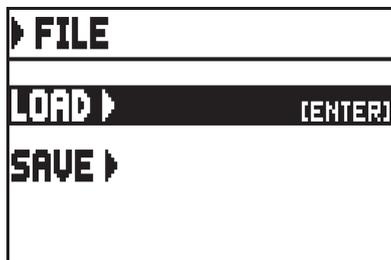
MIDIメッセージが不要の場合は、「OFF」に設定してキャンセルします。

COMBINATION PRGメニューを終了するには、[EXIT]ボタンを押します。

8. ファイルの管理（FILEメニュー）

本機はすべて（または一部）のオルガン設定をUSBメモリーに保存することができます。保存した設定はいつでも呼び出すことができます。この機能により、メモリーの容量が許す限り設定を保存でき、さらに、同じシリーズであれば異なるオルガンでも保存した設定を使用することができます。

設定の保存、読み込みをするには、メインメニューで「FILE」を選択します。



以下の機能を利用できます。

LOAD	USBメモリーから設定を読み込みます(42ページ参照)。
SAVE	USBメモリーに設定を保存します(43ページ参照)。

各機能にアクセスするには、[FIELD ▲]/[FIELD ▼]ボタンで項目にカーソルを合わせ、[ENTER]ボタンを押します。FILEメニューを終了するには、[EXIT]ボタンを押します。

8.1 USBメモリーについて

新品またはフォーマットしたばかりのUSBメモリーを本機に挿入し、FILEメニューにアクセスすると、システムが自動で2つのディレクトリを「organ」ドライブ内に作成します。このディレクトリ内には以下のサブフォルダが自動的に作成されます。

- **alls**: このフォルダには、.all ファイルが保存されます。.all ファイルにはSETTINGとSTYLE(4つのスタイル)メニューで設定したすべての設定と機能、ジェネラル/ディヴィジョンコンビネーション、トゥッティ、クレッシェンドの段階、選択したスタイルとストップのローカルオフ設定のすべての情報が含まれます。
- **combinations**: このフォルダには、.cmb ファイルが保存されます。.cmb ファイルにはジェネラル/ディヴィジョンコンビネーション、クレッシェンドの段階、トゥッティのすべての情報が含まれます。
- **settings**: このフォルダには、.set ファイルが保存されます。.set ファイルにはSETTINGメニューの設定、選択したスタイル、ローカルオフ設定のすべての情報が含まれます。
- **songs**: このフォルダには、.mid ファイルが保存されます。.mid ファイルには内蔵シーケンサーに録音されたソングの情報が含まれます。
- **styles_all**: このフォルダには、.sta ファイルが保存されます。.sta ファイルにはSTYLEメニューで設定された4つのスタイルのすべての情報が含まれます。
- **styles_single**: このフォルダには、.sts ファイルが保存されます。.sts ファイルにはSTYLEメニューで保存されたスタイルの情報が含まれます。

これらのシステムフォルダはファイルを整理するのに必要なため、削除したり名前を変更したりできません。削除すると保存したファイルを失う危険性があります(53ページ参照)。

メモ:

- USBメモリーを挿入してから、FILEメニューが表示されるまで数秒お待ちください。
- USBメモリーを挿入せずにアクセスしようとしたり、本機がUSBメモリーを認識できない場合は、「**USB PEN NOT PRESENT**」(USBメモリーがありません)というメッセージが表示されます。そのような場合は、USBメモリーに問題がないか、また正しくフォーマットされているか確認してください。
- 新しいUSBメモリーにコンピュータでファイルをコピーするには、まずフォルダ(41ページ参照)を作成する必要があります。ファイルは必ず専用のフォルダに保存してください。フォルダとそのはたらきを理解し指示に従い操作してください。
- USBメモリーは、FAT または FAT32 ファイルシステムでフォーマット済みのものを使用してください(NTFSは使用できません)。
- 「alls」、「combinations」、「settings」、「styles_all」、「styles_single」のフォルダは最大64ファイルまで保存できます。
- 「songs」フォルダは最大256ファイルまで保存できます。
- ファイル名の長さは(拡張子を含めて)最大31文字までです。

8.2 設定ファイルの読み込み(FILE LOAD機能)

USBメモリーに保存したオルガン設定とコンビネーションを、本機の内部メモリーに読み込んで使用できます。ファイルを読み込むには、FILEメニューで「LOAD」を選択します。



どのファイルタイプを読み込むかを選択します。

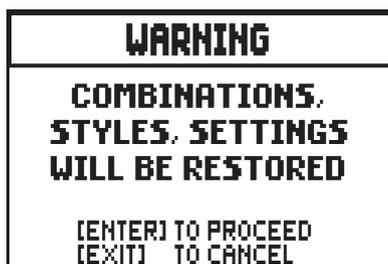
ALL	すべてのオルガン設定
COMBINATIONS	すべてのジェネラル/ディヴィジョンコンビネーション、トゥッティ、クレッシェンド(搭載モデルのみ)の設定
STYLE - ALL	すべてのオルガンスタイルの設定
STYLE - SINGLE	1つのオルガンスタイルの設定
SETTINGS	SETTINGSメニューの設定

ファイルタイプを選択して [ENTER] ボタンを押すと、USBメモリー内の該当するファイルが画面に表示されます。



選択したファイルタイプでファイルが存在しない場合は、「NO FILES」と表示されます。

ファイルを選択して[ENTER]ボタンを押すと、以下のメッセージが表示されます。



読み込みを続ける場合は[ENTER]ボタンを押します。中止する場合は[EXIT]ボタンを押します。ファイルが正常に読み込まれると「FILE SUCCESFULLY LOADED」(ファイルが読み込まれました)というメッセージが表示されます。

メモ:

- 1つのスタイルが読み込まれた場合は、同じタイプのスタイルのみ置き換えます。例えばバロックスタイルの場合はバロックを、ロマンティックスタイルの場合はロマンティックを置き換えます。スタイルを容易に識別するため、スタイルを保存するときは常にスタイルタイプをファイル名にすることをおすすめします。
- ファイルを読み込むとき、現在使用しているオルガン設定(各種設定、コンビネーション、スタイルなど)が新しい設定に置き換わってしまうことに注意してください。これを防ぐため、ファイルを読み込む前に現在の設定情報をUSBメモリーに保存することをおすすめします。
- 異なるモデルのオルガンで保存されたファイルを読み込もうとすると、「FILE LOAD FAILED - INCOMPATIBLE MODEL」(ファイルを読み込めませんでした。互換性の無いモデルのファイルです)というメッセージが表示されます。
- ファイルを作成したモデルのオペレーティングシステムのほうが新しい場合、「FILE LOAD FAILED - INCOMPATIBLE RELEASE」(ファイルを読み込めませんでした。互換性の無いリリースのファイルです)というメッセージが表示されます。
- 読み込むファイルが壊れていると、「FILE LOAD FAILED - CORRUPTED FILE」(ファイルを読み込めませんでした。ファイルが壊れています)というメッセージが表示されます。

8.3 設定ファイルの保存(FILE SAVE機能)

USBメモリーにオルガン設定とコンビネーションを保存するには、FILEメニューで「SAVE」を選択します。



どのファイルを保存するかを選択します。

ALL	すべてのオルガン設定
COMBINATIONS	すべてのジェネラル/ディヴィジョンコンビネーション、トゥッティ、クレッシェンド(搭載モデルのみ)の設定
STYLE - ALL	すべてのオルガンスタイルの設定
STYLE - CURR.	現在選択しているオルガンスタイルの設定
SETTINGS	SETTINGSメニューの設定

8. ファイルの管理 (FILEメニュー)

保存するファイルを選択して[ENTER]ボタンを押すと、ファイルの名前を入力する画面が表示されます。



```
SAVE ALL PARAMETERS
FILE NAME:
-----
[ENTER] TO SAVE
[EXIT] TO CANCEL
```

[VALUE +]/[VALUE -]ボタンで文字を選択し、[FIELD ▲]/[FIELD ▼]ボタンでカーソルを移動します。文字入力が終了したら[ENTER]ボタンを押して、ファイルを保存します。中止する場合は[EXIT]ボタンを押します。

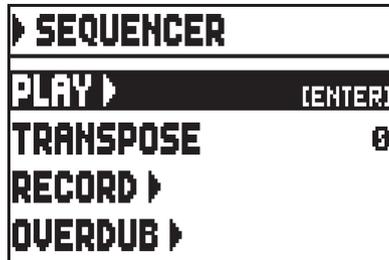
ファイルが保存されると「**FILE SUCCESSFULLY SAVED**」(ファイルが正常に保存されました)というメッセージが表示されます。

メモ:

- 1つのスタイルが読み込まれた場合は、同じタイプのスタイルのみ置き換えます。例えばバロックスタイルの場合はバロックを、ロマンティックスタイルの場合はロマンティックを置き換えます。スタイルを容易に識別するため、スタイルを保存するときは常にスタイルタイプをファイル名にすることをおすすめします。
- 同一の名前と拡張子のファイルがUSBメモリー内にある場合、「**FILE ALREADY EXISTS**」(ファイルがすでに存在しています)というメッセージが表示されます。上書き保存を選択する場合は、[ENTER]ボタンを押して実行に進みます。別名で保存する場合は、[EXIT]ボタンを押します。上書き保存すると、以前の内容は消去されますので注意してください。
- 「**FILE SAVE FAILED**」(ファイルを保存できませんでした)というメッセージが表示された場合は再度操作を繰り返してみてください。再度エラーが発生する場合は、USBメモリーに容量が十分残っているか確認してください。それでもなおエラーが発生する場合は、USBメモリーが壊れているか、フォーマットが適切でない可能性があります。他のUSBメモリーに変えるか、コンピューターでフォーマットをやり直してください。

9. 再生と録音 (SEQUENCER機能)

本機にはシーケンサー(デジタルレコーダー)が内蔵されています。シーケンサーはオルガンで演奏した曲と使用したコントロール類、[MIDI IN] 端子で受信したMIDIデータを記録できます。この録音はUSBメモリーにMIDIファイル(SMFフォーマット1、テンポ(BPM):125、分解能:384)として保存され、いつでも再生することができます。シーケンサーを呼び出すには、[SEQUENC.]ボタンを押します。



以下の機能を利用できます。

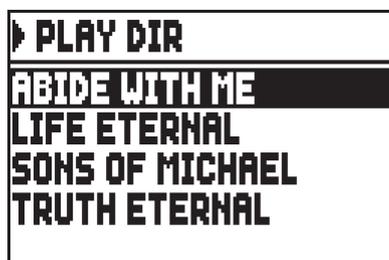
PLAY	USBメモリーに保存された演奏を再生します(45ページ参照)。
TRANSPOSE	シーケンサーで再生する曲の移調を半音単位で設定します。
RECORD	演奏曲を録音します(47ページ参照)。
OVERDUB	曲に新たな録音を追加します(49ページ参照)。

メモ:

- 新しいUSBメモリーにコンピュータでファイルをコピーするには、まずフォルダ(41ページ参照)を作成する必要があります。ファイルは必ず専用のフォルダに保存してください。フォルダとそのはたらきを理解し指示に従い操作してください。
- USBメモリーは、FATまたはFAT32ファイルシステムでフォーマット済みのものを使用してください(NTFSは使用できません)。
- シーケンサーで再生または録音する.midファイルは「songs」フォルダに保存してください。フォルダは最大256ファイルまで保存できます。
- ファイル名の長さは(拡張子を含めて)最大31文字までです。
- メイン画面で設定したトランスポジション(移調)は、シーケンサーの再生時にははたらきません(録音時には、移調された音程で録音されます)。

9.1 曲の再生(PLAYモード)

SEQUENCER画面で「PLAY」を選択します。挿入したUSBメモリーに保存されたMIDIファイルが表示されます。



USBメモリーにファイルが保存されていない場合は「NO FILES」と表示されます。再生するMIDIファイルを選択します。



PLAYモードでは以下のボタンが使用できます。

- [ENTER] : 曲の再生を開始します。
- [EXIT] : PLAYモードを終了します。
- [FIELD▲] : 早送りします。
- [FIELD▼] : 巻き戻しします。
- [VALUE -] : 再生速度を遅くします。画面右上に元の速度に対するパーセントで表示します(上記画面の例では100%)。
- [VALUE +] : 再生速度を速くします。画面右上に元の速度に対するパーセントで表示します(上記画面の例では100%)。



曲の再生中は[ENTER]ボタンおよび[EXIT]ボタンの機能が、下記のように変わります。

- [ENTER] : 曲の再生を一時停止/再開します。
- [EXIT] : 曲の再生を停止します。

[FIELD ▲]/[FIELD ▼]ボタン、[VALUE +]/[VALUE -]ボタンの機能は変わりません。

メモ:

- USBメモリーを挿入したあと、数秒待ってからPLAYモードを選択してください。
- USBメモリーを挿入せずにシーケンサーを呼び出したり、本機がUSBメモリーを認識できない場合は、「**USB PEN NOT PRESENT**」(USBメモリーがありません)というメッセージが表示されます。そのような場合は、USBメモリーに問題がないか、また正しくフォーマットされているか確認してください。
- ファイルが壊れていたり、250 KB(シーケンサーで使用できる最大のファイルサイズ)より大きかったりすると、「**FILE LOAD FAILED**」(ファイルを読み込めませんでした)というメッセージが表示されます。

専用ソフトウェアで録音/編集したソングの取り扱い

内蔵シーケンサーで録音した MIDI ファイルは、一般的な MIDI 編集ソフトウェアで編集できます。録音時のミスを修正したりトラックを全般的に改善したりするのに有用です。**ただし、使い方を熟知していない場合はこの処理を行わないでください。**MIDI ファイルを編集するときは、以下の規則を守ってください。

- トラックチャンネルを修正しないでください。必要な場合は、内蔵シーケンサーのチャンネル設定を優先してください。各セクションには以下のチャンネルが割り当てられています。
 - 足鍵盤: 1
 - 第 I 手鍵盤(Chorum 90): 4
 - 第 II 手鍵盤(Chorum 90)、第 I 手鍵盤(Chorum 60/40/S40): 2
 - 第 III 手鍵盤(Chorum 90)、第 II 手鍵盤(Chorum 60/40/S40): 3

内蔵シーケンサーは録音時に、トラックを演奏しているセクションに該当する名前をそのトラックに付けます。ほとんどのソフトウェアで、このトラック名を読むことができます。

- 「Pedal」トラック: 足鍵盤
- 「Choir」トラック: 第 I 手鍵盤(Chorum 90)
- 「Great」トラック: 第 II 手鍵盤(Chorum 90)、第 I 手鍵盤(Chorum 60/40/S40)
- 「Swell」トラック: 第 III 手鍵盤(Chorum 90)、第 II 手鍵盤(Chorum 60/40/S40)
- 「Volumes」トラック: ディヴィジョンボリュームおよびエクスプレッションペダル
- 「Stops」トラック: ストップの状態

変更してはならない社内用および開発用のみのトラックもありますのでご注意ください。

- 各ディヴィジョンはコントロールチェンジ7、エクスプレッションペダルの位置はコントロールチェンジ11で記録されます。これらのコントロールチェンジチャンネルは以前のモデルと同じです。
- ストップ設定、キャンセル、ENG、カプラー設定等はシステムエクスクルーシブとして記録されるので、これらのメッセージも変更しないでください。録音にストップを追加または削除したい場合は、該当するシステムエクスクルーシブメッセージが必要です。そのためには、本機の[MIDI OUT]端子をモニターして、ストップをオン/オフして送信されるMIDIメッセージをチェックします。このメッセージは「Stops」トラックでのみ追加/削除してください。
- MIDI ファイルを保存する際は、分解能384tpqnを変更しないでください。

シーケンサーは録音されていないトラックも再生できます。ただし以下の点を留意してください。

- トラックのチャンネル設定が内蔵シーケンサーと必ずしも一致しないことがあります。前述の説明に従ってチャンネルをリセットしてください。
- MIDIトラックにストップの情報がない場合もあります。その場合は望ましいストップコンビネーションでオーバーダビング(49ページ参照)してください。
- ディヴィジョンボリュームとエクスプレッションペダルの情報がMIDIトラックにない場合があります。その場合も、そのトラックをオーバーダビングしてください。

9.2 曲の録音(RECORDモード)

SEQUENCER画面で「RECORD」を選択します。次の画面が表示されます。



9. 再生と録音 (SEQUENCER機能)

RECORDモードでは以下のボタンが使用できます。

- [ENTER]: 録音を開始します。
- [EXIT]: RECORDモードを終了します。



曲の録音中はボタンの機能が下記のように変わります。

- [ENTER]: 録音を一時停止／再開します。
- [EXIT]: 録音を停止します。

[EXIT] ボタンを押して録音を終了すると、録音を保存するための画面が表示されます。



以下の機能を利用できます。

SAVE	録音をMIDIファイルとして保存します。
PLAY	録音を保存する前に再生します。
OVERDUB	呼び出した曲に新たな録音を加えます(49ページ参照)。
DISCARD & EXIT	録音を削除し、RECORDモードを終了します。

[SAVE]を選択すると、保存するMIDIファイルの名前を入力する画面が表示されます。



[VALUE +]/[VALUE -] ボタンで文字を選択し、[FIELD ▲]/[FIELD ▼] ボタンでカーソルを移動します。文字入力が終了したら [ENTER] ボタンを押して、ファイルを保存します。中止する場合は [EXIT] ボタンを押します。ファイルが保存されると「FILE SUCCESSFULLY SAVED」(ファイルが正常に保存されました) というメッセージが表示されます。

SAVE SONG画面で[EXIT]ボタンを押した場合(録音を保存していない場合)、録音が削除されることを警告するメッセージが表示されます。



[ENTER]ボタンを押すと、録音した内容を削除して終了します。[EXIT]ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

メモ:

- USBメモリーを挿入せずに保存しようとしたり、本機がUSBメモリーを認識できない場合は、「**USB PEN NOT PRESENT**」(USBメモリーがありません)というメッセージが表示されます。そのような場合は、USBメモリーに問題がないか、また正しくフォーマットされているか確認してください。
- 「**FILE SAVE FAILED**」(ファイルを保存できませんでした)というメッセージが表示された場合は再度操作を繰り返してみてください。再度エラーが発生する場合は、USBメモリーに容量が十分残っているか確認してください。それでもなおエラーが発生する場合は、USBメモリーが壊れているか、フォーマットが適切でない可能性があります。

9.3 曲のオーバードビング(OVERDUBモード)

内蔵シーケンサーは録音／再生だけでなく、すでに録音済みのMIDIトラックに以下の手順でオーバードビングできます。

- SEQUENCER画面で「**OVERDUB**」を選択し、オーバードビングするMIDIファイルを選択します(45ページ参照)。
- 録音終了時の保存画面で「**OVERDUB**」を選択します(47ページ参照)。

選択したトラックに記録されている設定(ストップ、カプラー、トレモロ、MIDI コントローラー、全体のコントローラー類)を、現在選択されている内容と入れ替えるか、確認メッセージが表示されます。



[ENTER]ボタンを押すと、新しい設定に入れ替わります。[EXIT]ボタンを押すと、記録されている設定が保持されます。次に、ディヴィジョンボリュームとエクスプレッションペダルについての確認メッセージが表示されます。



[ENTER]ボタンを押すと、新しい設定に入れ替わります。[EXIT]ボタンを押すと、記録されている設定が保持されます。

これでオーバーダビングを開始できます。



OVERDUBモードでは以下のボタンが使用できます。

- **[ENTER]**: 録音を開始します。
- **[EXIT]**: OVERDUBモードを終了します。
- **[VALUE -]**: 再生/録音速度を遅くします。画面右上に元の速度に対するパーセントで表示します(上記画面の例では100%)。
- **[VALUE +]**: 再生/録音速度を速くします。画面右上に元の速度に対するパーセントで表示します(上記画面の例では100%)。



オーバーダビング中は**[ENTER]**ボタンおよび**[EXIT]**ボタンの機能が、下記のように変わります。

- **[ENTER]**: 録音を一時停止/再開します。
- **[EXIT]**: 録音を停止します。

[VALUE +]/**[VALUE -]**ボタンの機能は変わりません。

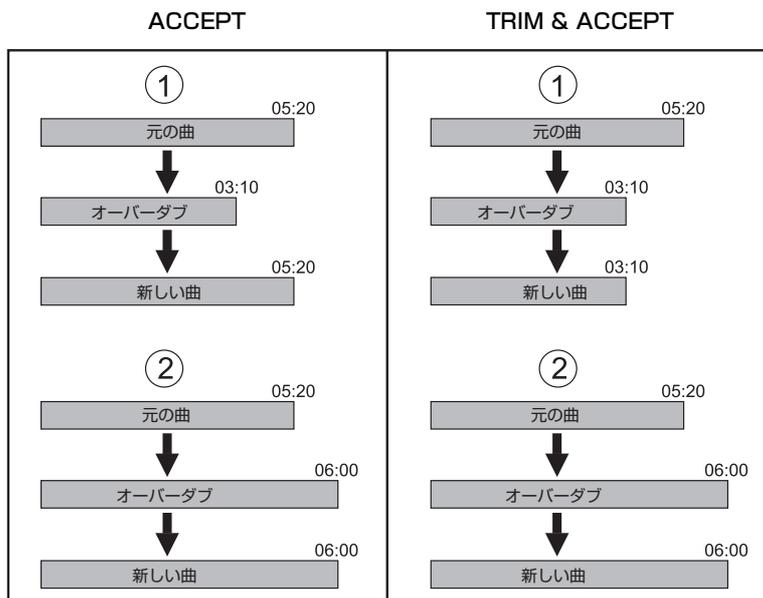
[EXIT]ボタンを押して録音を終了すると、オーバーダビングした内容を確定するかどうかのメッセージが表示されます。



以下の機能を利用できます。

ACCEPT	オーバーダビングの内容を確定します。元の曲よりオーバーダビングしたトラックのほうが短くても曲自体は短くなりません。
TRIM & ACCEPT	オーバーダビングの内容を確定します。元の曲よりオーバーダビングしたトラックのほうが短い場合は、オーバーダビングの長さに合わせて終端がカットされます。
PLAY	トラックの確認をするためにオーバーダビングされた曲を再生します。この時点ではオーバーダビングされた内容はまだ保存されていません。
PLAY FROM OVD	トラックの確認をするために、最後に行なったオーバーダビングの冒頭から曲の再生を行ないます。この時点では、オーバーダビングされた内容はまだ保存されていません。
DISCARD	オーバーダビングする内容を削除します。

「ACCEPT」または「TRIM & ACCEPT」を選択すると、保存画面に進みます。ここでは曲を別名で保存することができます。「PLAY」または「PLAY FROM OVD」を選択すると、PLAYモードに入ります。「EXIT」ボタンを押すと、前の画面に戻ります。



「EXIT」ボタンを押してOVERDUBモードを終了しようとする時、オーバーダビングした内容が削除されることを警告するメッセージが表示されます。



「ENTER」ボタンを押すと、オーバーダビングした内容を削除して終了します。「EXIT」ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

メモ:

- USBメモリーを挿入せずに保存しようとした時、本機がUSBメモリーを認識できない場合は、「**USB PEN NOT PRESENT**」(USBメモリーがありません)というメッセージが表示されます。そのような場合は、USBメモリーに問題がないか、また正しくフォーマットされているか確認してください。
- ファイルが壊れていたり、250 KB(オーバーダビングで使用する最大のファイルサイズ)より大きかったりすると、「**FILE LOAD FAILED**」(ファイルを読み込めませんでした)というメッセージが表示されます。
- 「**FILE SAVE FAILED**」(ファイルを保存できませんでした)というメッセージが表示された場合は再度操作を繰り返してみてください。再度エラーが発生する場合は、USBメモリーに容量が十分残っているか確認してください。それでもなおエラーが発生する場合は、USBメモリーが壊れているか、フォーマットが適切でない可能性があります。

便利な使い方

自宅でオルガン曲を練習するときに、練習したい鍵盤以外を録音して、聞きながら練習できます。

例) 右手が第2手鍵盤、左手が第1手鍵盤、足鍵盤がある曲で、右手を練習したいとき

- 1) 左手パートと足鍵盤パートだけ録音する。右手パートの音色も選んでおく。
- 2) 録音したデータに名前をつけて保存する。
- 3) 保存したデータを再生する。
- 4) 再生した音色に合わせて、右手パートを弾く。

10. ストップのローカルオフ

ローカルオフモードに設定されたストップは、本機の内蔵音源では再生されませんが、MIDI メッセージ(システムエクスクルーシブコード)が送信されるため、接続された楽器での演奏が可能になります。

ストップをローカルオフモードに設定するには、メイン画面を表示させ[S] ボタンを押しながら[C] ボタンを押します。すべてのストップのインジケータが点灯し、次の画面が表示されます。



ボイスをローカルオフモードに設定するにはタブレットスイッチを押してインジケータを消します。希望する設定の状態で、[S] ボタンおよび[C] ボタンを同時に押して保存します。

このあとローカルオフ設定機能にアクセスすると、ストップのインジケータでローカルオフ機能の状態が表示されます。

- 点灯しているインジケータ:ストップはローカルオンモードです(内部音源で再生されます)。
- 点灯していないインジケータ:ストップはローカルオフモードです。

11. 付録

11.1 デモソングの再生(DEMOメニュー)

本機にはデモソングが内蔵されており、いろいろな音色で楽しむことができます。また、お好みで調整した音色を試してみることができます。

デモソングを呼び出すには、メインメニューで「DEMO」を選択します。

[FIELD ▲]/[FIELD ▼]ボタンで再生するデモソングを選択します。

[ENTER]ボタンを押して、デモソングを再生/停止します。

DEMOメニューを終了するには、[EXIT]ボタンを押します。

11.2 全ファイルの内容

「.set」ファイル

パラメーター名	設定メニューの場所	備考
SELECTED STYLE	システムデータ	
各ストップのローカルオフ		
PEDAL	VOLUMES機能	
MAN. I	VOLUMES機能	
MAN. II	VOLUMES機能	
MAN. III	VOLUMES機能	Chorum 90のみ
OUT 1	VOLUMES機能	
OUT 2	VOLUMES機能	
SUB	VOLUMES機能	
INPUT	VOLUMES機能	
TUNING	メイン画面	
TEMPER.	メイン画面	
REVERB	SETTINGSメニュー	
KEYB. INVERS.	SETTINGSメニュー	
SHORT OCTAVE	SETTINGSメニュー	
INTERNAL	SETTINGSメニュー、EQUALIZER機能	
OUT 1	SETTINGSメニュー、EQUALIZER機能	
OUT 2	SETTINGSメニュー、EQUALIZER機能	
SUB CROSSOVER	SETTINGSメニュー、EQUALIZER機能	
PEDAL OUT 1 - OUT 2	SETTINGSメニュー、EXTERNAL OUTPUTS機能	
MANUAL I OUT 1 - OUT 2	SETTINGSメニュー、EXTERNAL OUTPUTS機能	
MANUAL II OUT 1 - OUT 2	SETTINGSメニュー、EXTERNAL OUTPUTS機能	
MANUAL III OUT 1 - OUT 2	SETTINGSメニュー、EXTERNAL OUTPUTS機能	Chorum 90のみ
REVERB OUT 1 - OUT 2	SETTINGSメニュー、EXTERNAL OUTPUTS機能	
INPUT OUT 1 - OUT 2	SETTINGSメニュー、EXTERNAL OUTPUTS機能	
PEDAL TX - RX	SETTINGSメニュー、MIDI/MIDI CHANNELS機能	
MANUAL I TX - RX	SETTINGSメニュー、MIDI/MIDI CHANNELS機能	
MANUAL II TX - RX	SETTINGSメニュー、MIDI/MIDI CHANNELS機能	
MANUAL III TX - RX	SETTINGSメニュー、MIDI/MIDI CHANNELS機能	Chorum 90のみ
CONTROL	SETTINGSメニュー、MIDI/MIDI CHANNELS機能	
PROGRAM	SETTINGSメニュー、MIDI/MIDI FILTERS機能	
SYSEX	SETTINGSメニュー、MIDI/MIDI FILTERS機能	
REAL TIME	SETTINGSメニュー、MIDI/MIDI FILTERS機能	
NOTE TO COUPL.	SETTINGSメニュー、MIDI機能	
OUT MODE	SETTINGSメニュー、MIDI機能	
PEDALE	SETTINGSメニュー、VELOCITY SENSE機能	
MANUAL I	SETTINGSメニュー、VELOCITY SENSE機能	
MANUAL II	SETTINGSメニュー、VELOCITY SENSE機能	
MANUAL III	SETTINGSメニュー、VELOCITY SENSE機能	Chorum 90のみ
SAVE ENC+AP	SETTINGSメニュー、COMBINATIONS機能	
SAVE MIDI PIST.	SETTINGSメニュー、COMBINATIONS機能	
SAVE ST/TR/OR	SETTINGSメニュー、COMBINATIONS機能	
SAVE COUPL.	SETTINGSメニュー、COMBINATIONS機能	
PISTON CMB	SETTINGSメニュー、COMBINATIONS機能	
CRESC. PED.	SETTINGSメニュー	クレッシェンドペダルがある場合
LCD CONTRAST	SETTINGSメニュー	

【.cmb】ファイル

コンビネーション	内容	備考
トゥッティ	全ストップ、全カブラー、全トレモロ、トレモロの速さと深さ*、ENC*、MIDIコントロール*、AP*、MIDIプログラムチェンジおよびバンクセレクト、オーケストラボイス*、スタイル*	* コンビネーション機能により有効な場合
すべてのジェネラルコンビネーション	全ストップ、全カブラー、全トレモロ、トレモロの速さと深さ*、ENC*、MIDIコントロール*、AP*、MIDIプログラムチェンジおよびバンクセレクト、オーケストラボイス*、スタイル*	* コンビネーション機能により有効な場合
すべてのディビジョンコンビネーション	全ストップ、全カブラー、全トレモロ、トレモロの速さと深さ*、ENC*、MIDIコントロール*、AP*、MIDIプログラムチェンジおよびバンクセレクト、オーケストラボイス*、スタイル*	* コンビネーション機能により有効な場合
クレッシェンド(16ステップ)	全ストップ、全カブラー、全トレモロ	

【.sts】ファイル

パラメーター名	設定メニューの場所	備考
ENSEMBLE	STYLEメニュー	
TREMULANTS DEPTH	STYLEメニュー、TREMULANTS機能	
TREMULANTS SPEED	STYLEメニュー、TREMULANTS機能	
VOICES VOLUMES	STYLEメニュー、VOICES VOLUME機能	
ORCHESTRA VOICES	STYLEメニュー、ORCHESTRA機能	

【.sta】ファイル

内容	備考
4つの.stsファイルと同じ	各スタイルに1つ

【.all】ファイル

内容	備考
.staファイルと同じ	
.cmbファイルと同じ	
.setファイルと同じ	
各ストップのローカルオフ	

11.3 MIDIとは

MIDIとはMusical Instrument Digital Interfaceの略で、特定の通信プロトコル、インターフェース、端子などを使って、異なるメーカーやさまざまなタイプの電子楽器間でデータのやりとりを行なうための世界共通規格です。MIDI システムを構築すれば、1台の楽器を単独で使うよりも汎用性やコントロール性ははるかに向上します。このデータのやりとりを行なうために、MIDI楽器には以下の2つまたは3つの5ピンDIN端子が装備されています。

- **MIDI IN端子**:他のユニットからMIDIデータを受信します。
- **MIDI OUT端子**:他のユニットへMIDIデータを送信します。
- **MIDI THRU端子**:MIDI IN端子で受信したMIDIデータをそのまま送信します。複数の楽器や機器を直列に接続したときに使用します。本機には装備されていません。

MIDI インターフェースを装備している楽器の多くは、演奏したノート(音名)や弾く強弱などの情報を MIDI データとして MIDI OUT 端子から送信します。この MIDI OUT 端子を、別の MIDI 楽器(エクスパンダーなど)の MIDI IN 端子に接続すると、受信側の MIDI 楽器が送信元の楽器で演奏したノートを正確に再現します。同様のデータ送信が MIDI シーケンサーの記録にも使われます。コンピューターやシーケンサーを使って、送信元の楽器で生成した MIDI データを記録します。この記録データをその楽器に送信すれば、録音された演奏が自動再生されます。

MIDIには16系統のMIDIチャンネルがあるので、1本のケーブル、1つの端子だけで大量のデジタルデータをMIDI送信できます。たとえば、無線通信で双方の局が互いに同じ周波数(またはチャンネル)に合わせたときにのみ通信できるのと同じで、接続された2台のMIDI機器間でも、送信側の送信チャンネルと受信側の受信チャンネルが同一の場合にのみ通信できます。

MIDI メッセージには、チャンネルメッセージとシステムメッセージがあります。これらのメッセージについて次に説明します。

チャンネルメッセージ

NOTE ON(ノートオン)

鍵盤上でキーが押されると、このメッセージが送信されます。ノートオンメッセージには次の情報が含まれています。

Note On(ノートオン):キーが押されたこと

Note Number(ノート番号):押されたキーのノート番号

Velocity(ベロシティ):音の強弱(キーを押したときの強さ)

音名は、0から127のNote Number(ノート番号)で表現されます。中央のCが60番です。

NOTE OFF(ノートオフ)

すでに押されたキーが解放されると、このメッセージが送信されます。

メッセージが受信されると、そのキーによって演奏された音が停止します。ノートオフメッセージには次の情報が含まれています。

Note Off(ノートオフ):キーが解放されたこと

Note Number(ノート番号):解放されたキーのノート番号

Velocity(ベロシティ):音の強弱(キーが解放される速さ)

メモ:

Velocity(ベロシティ)=0のノートオンメッセージは、ノートオフメッセージと同じです。

PROGRAM CHANGE(プログラムチェンジ)

このメッセージは、受信側の楽器のプログラムまたは音を選択するときに使用します。

General MIDIと呼ばれる特定の統一規格があり、受信された各プログラムチェンジに対してどの音色が呼び戻されるかを規定しています。通常、この音色割り当ては、General MIDI規格を採用した楽器の取扱説明書のMIDIインプリメンテーションチャートに記載されています。

プログラムチェンジメッセージには次の情報が含まれています。

Program Change(プログラムチェンジ):ボイスまたはプログラムが変更されたこと

Program Change Number(プログラムチェンジ番号):有効にするプログラムやボイスの番号

CONTROL CHANGE(コントロールチェンジ)

演奏に表現を加えるために使用されるコントロールメッセージです(多くの場合、つまみやペダルに関連します)。ボリューム(CC n.7)やエクスプレッションペダルの位置(CC n.11)などのボイスパラメーターを設定(必要に応じてリアルタイムでコントロール)することができます。

このメッセージには次の情報が含まれています。

Control Change(コントロールチェンジ): コントローラーが調整されたこと

Controller Number(コントローラー番号): 調整されたコントローラー

Controller Position(コントローラー位置): コントローラーの設定位置

システムメッセージ**SYSTEM EXCLUSIVE(システムエクスクルーシブ)**

これらのメッセージは、送信側機器と同じメーカーの楽器(場合によっては同じモデル)でのみ読み取ることができ、主にその楽器音の生成やプログラミングパラメーターに関連しています。本機ではこれらのメッセージを使用して、すべての内部パラメーターをコントロールしボイスのオン/オフを切り替えます。

REAL TIME(リアルタイム)

これらのメッセージは、接続されている楽器の特定のモジュールや機能のコントロールをリアルタイムで行なうために使用されます。

メッセージには、START(開始)、STOP(停止)、PAUSE/CONTINUE(一時停止/続行)、CLOCK(クロック)コマンドが含まれます。本機では内蔵シーケンサーを使用するときに、このメッセージが送信されます。

START(開始): シーケンサーがMIDIシーケンスの録音または再生を開始

STOP(停止): シーケンサーが停止

PAUSE/CONTINUE(一時停止/続行): シーケンサーが一時停止

CLOCK(クロック): シーケンサーの速度

メモ:

本機ではシステムメッセージを送受信できません。ここでは参考情報として説明しています。

リアルタイムメッセージには、2台のMIDI楽器間の通信状態を保つために送信されるアクティブセンシングコードも含まれます。受信側の楽器がMIDIデータまたはアクティブセンシングコードを約300ミリ秒間受信しないと、MIDIの接続が切れていると判断されます。そのため、まだ有効なノートもオフになります。このメッセージの送受信はオプションですので、すべての楽器が対応しているわけではありません。

11.4 MIDIインプリメンテーションの詳細

チャンネルメッセージ

デフォルト設定を使用すると、次の MIDI チャンネルでチャンネルメッセージが送信されます。

Chorum 90

- Ch.1: Man. IIIのノートまたはコントロール
- Ch.2: Man. IIのノートまたはコントロール
- Ch.3: Man. Iのノートまたはコントロール
- Ch.4: Pedalのノートまたはコントロール

Chorum 60/40/S40

- Ch.1: Man. IIのノートまたはコントロール
- Ch.2: Man. Iのノートまたはコントロール
- Ch.4: Pedalのノートまたはコントロール

Ch.16は専用チャンネル(システム)です。

Note On(ノートオン)

鍵が押されたときに送信されるメッセージです。

Data format: 9nH kkH vvH

n=channel number :0H-EH (1-15)
 kk=note number :1EH-65H (30-101)
 vv=note on velocity :01H-7FH (1-127)
 :00H (0) Note Off

Note Off(ノートオフ)

鍵が解放されたときに送信されるメッセージです。

Data format: 8nH kkH vvH
 9nH kkH 00H

n=channel number :0H-EH (1-15)
 kk=note number :1EH-65H (30-101)
 vv=note off velocity :00H-7FH (0-127)
 ignored

- このメッセージは、Velocity(ベロシティ)=0のNote On(ノートオン)メッセージとして受信されることがあります。

Control Change(コントロールチェンジ)

ボリューム、エクスプレッションやその他のシステムのコントロールを行なうメッセージです。

• Bank Select(バンクセレクト)MSB (CC 0)

特定の音声のバンクを選択するために、Program Change(プログラムチェンジ)と Bank Select(バンクセレクト)LSB の組み合わせで送信されるコントローラーです。コンビネーションとトゥッティに保存された場合、COMBINATION PRG 機能を使って送信できます。また、メモリーバンクを選択するため、チャンネル16で受信することもできます。

Data format: BnH 00H vvH

n=channel number :0H-EH (1-15)
 vv=bank MSB number :00H-7FH (0-127)

• Volume(ボリューム)(CC 7)

セクションのボリュームをコントロールするメッセージです。

Data format: BnH 07H vvH

n=channel number :0H-EH (1-15)
 vv=volume value :00H-7FH (0-127)

• Expression(エクスプレッション)(CC 11)

セクションのエクスプレッションをコントロールするメッセージです。

Data format: BnH 0BH vvH

n=channel number :0H-EH (1-15)
 vv=expression value :00H-7FH (0-127)

• Bank Select(バンクセレクト)LSB (CC 32)

特定の音声のバンクを選択するために、Program Change(プログラムチェンジ)と Bank Select(バンクセレクト)MSB の組み合わせで送信されるコントローラーです。コンビネーションとトゥッティに保存された場合、COMBINATION PRG 機能を使って送信できます。

Data format: BnH 20H vvH

n=channel number :0H-EH (1-15)
 vv=bank LSB number :00H-7FH (0-127)

• Sustain(サステイン)(CC 64)

Sustain(サステイン)/Damper(ダンパー)効果をコントロールするメッセージです。

Data format: BnH 40H vvH

n=channel number :0H-EH (1-15)
 vv=switch :00H (0) off
 (received as 00H-39H)
 :7FH (127) on
 (received as 40H-7FH)

• All Sounds Off(すべての音声をオフにする)(CC 120)

特定のチャンネルの現在のボイスをすべて停止します。

Data format: BnH 78H 00H

n=channel number :0H-EH (1-15)

• Reset All Controllers(すべてのコントローラーをリセットする)(CC 121)

コントローラーはデフォルト値にリセットされます。

Data format: BnH 79H 00H

n=channel number :0H-EH (1-15)

- このメッセージは送信のみです。

• All Notes Off(すべてのノートをオフにする)(CC 123)

特定のチャンネルの現在のノートをすべて停止します。

Data format: BnH 7BH 00H

n=channel number :0H-EH (1-15)

Program Change(プログラムチェンジ)

音声、音色またはプログラムを変更するためのメッセージです。同様に、受信してコンビネーション、トゥッティおよびクレッシェンドのステップを呼び出すことができます。

Data format: CnH mmH

送信データ:

n=channel number :00-EH (1-15)
mm=Program Ch. number :00H-7FH (0-127)

受信データ:

n=channel number :FH (16)
mm=Program Ch. number:
00H (0): general HR
01H-06H (1-6): general combinations 1-6
10H (16): Pedal HR
11H-16H (17-22): Pedal combinations 1-6
20H (32) (3-manual models): Man.II HR
20H (32) (2-manual models): Man.I HR
21H-26H (33-38) (3-manual models): Man.II combin. 1-6
21H-26H (33-38) (2-manual models): Man.I combin. 1-6
30H (48) (3-manual models): Man.III HR
30H (48) (2-manual models): Man.II HR
31H-36H (49-54) (3-manual models): Man.III combin. 1-6
31H-36H (49-54) (2-manual models): Man.II combin. 1-6
40H (64) (3-manual models): Man.I HR
41H-46H (65-70) (3-manual models): Man.I combin. 1-6
60H (96): Tutti OFF
61H (97): Tutti ON
6FH (111): Crescendo -- (OFF)
70H-7FH (112-127): Crescendo steps 1-16

標準システムエクスクルーシブメッセージ**• Device Inquiry(デバイスの確認)**

楽器がオンになったとき、およびDevice Inquiry Requestを受信したときに送信される楽器情報です。

Data format: F0H 7EH 00H 06H 02H 31H 00H
1CH 20H 00H xxH yyH zzH vvH F7H

F0H: Exclusive status
7EH: Universal Non Realtime message
00H: channel
06H: general information
02H: device ID reply
31H: Viscount ID
00H 1CH: device family code
20H 00H: device family member code
xxH yyH zzH vvH: software version
F7H: End of Exclusive

• Master Fine Tuning(マスターファインチューニング)

パラメーター:Tuning

画面:メイン画面

Data format: F0H 7FH 7FH 04H 03H vvH nnH
F7H

F0H: Exclusive status
7FH: Universal Realtime message
7FH: channel (any)
04H: Sub-ID #1=Device Control message
03H: Sub-ID #2=Master Fine tuning
vvH nnH: fine tuning value
00H 00H: A4=415,3 Hz
00H 40H: A4=440 Hz
7FH 7FH: A4=466,2 Hz
F7H: End of Exclusive

• Temperament(テンペラメント)

パラメーター:Temperament

画面:メイン画面

Data format: F0H 7EH 7FH 08H 08H 03H 7FH
7FH [ss] ... F7H

F0H: Exclusive status
7EH: Universal Non Realtime message
7FH: channel (any)
08H: Sub-ID #1=MIDI Tuning standard
08H: Sub-ID #2=scale/octave tuning 1-byte form (Non Real-Time)
03H: channel/options byte 1
7FH: channel byte 2
7FH: channel byte 3
[ss]: 12 byte tuning offset of 12 semitones from C to B
00H: -64 cents
40H: 0 cents
7FH: +64 cents
F7H: End of Exclusive

バイカウントシステムのエクスクルーシブメッセージ**• Register on/off(登録オン/オフ)**

Data format: F0H 31H snH xxH yyH F7H

F0H: Exclusive status
31H: Viscount ID
sH : switch
0H=voice off
4H=voice on
nH : channel number (0H-EH)
xxH: voice id - first byte
yyH: voice id - second byte
F7H: End of Exclusive

• Tremulant Speed(トレモロの速さ)

パラメーター:Spd

画面:Style/Tremulants

Data format: F0H 31H 2nH 5AH vvH F7H

F0H: Exclusive status

31H: Viscount ID

2sH: channel number (s=0H-EH)

5AH: tremulant speed

vvH: speed value (04H-20H)

F7H: End of Exclusive

- Tremulant(トレモロ)のスイッチがオンのときこのメッセージが送信されます。

• Tremulant Depth(トレモロの深さ)

パラメーター:Dpt

画面:Style/Tremulant

Data format: F0H 31H 2sH 5CH vvH F7H

F0H: Exclusive status

31H: Viscount ID

2sH: channel number (s=0H-EH)

5CH: tremulant depth

vvH: depth value (04H-20H)

F7H: End of Exclusive

- Tremulant(トレモロ)のスイッチがオンのときこのメッセージが送信されます。
- スwitchがオフのとき、トレモロの深さの数値は 00H として送信されます。

• Temperament(調律法)

パラメーター:Temper.

画面:メイン画面

Data format: F0H 31H 2FH 31H vvH F7H

F0H: Exclusive status

31H: Viscount ID

2FH: system control

31H: temperament

vvH: temperament type

00H=Equal

10H=Kirnberger II

11H=Werckmeister III

12H=Pythagorean

13H=Meantone 3#

14H=Vallotti

15H=Chaumont

16H=Kellner 1975

17H=Kirnberger III

18H=Werckmeister IV

19H=Werckmeister V

1AH=Silbermann

1BH=Meantone 3b

1CH=Meantone Pure Minor 3rd

1DH=Zarlino

1EH=Sauveur 1

1FH=Sauveur 2

20H=Barca

F7H: End of Exclusive

• Ensemble(アンサンブル)

パラメーター:Ensemble

画面:Style

Data format: F0H 31H 2FH 32H vvH F7H

F0H: Exclusive status

31H: Viscount ID

2FH: system control

32H: ensemble

vvH: ensemble value (00H-08H)

F7H: End of Exclusive

• Tuning(チューニング)

パラメーター:Tuning

画面:メイン画面

Data format: F0H 31H 2FH 67H 00H 0nH 0nH 0nH F7H

F0H: Exclusive status

31H: Viscount ID

2FH: system control

67H: fine tuning

0nH 0nH 0nH: nibblezed data of tuning value

02H 00H 0CH=-50 cents

(A=427,47Hz)

04H 00H 00H=0 cents (A=440 Hz)

05H 0FH 04H=+50 cents

(A=452,89Hz)

F7H: End of Exclusive

• Cancel(キャンセル)

Data format: F0H 31H 2FH 6CH 00H F7H

F0H: Exclusive status

31H: Viscount ID

2FH: system control

6CH: cancel

00H: execute cancel

F7H: End of Exclusive

• Couplers(カプラーオン/オフ:Chorum 90)

Data format: F0H 31H 2FH 70H vvH F7H

F0H: Exclusive status

31H: Viscount ID

2FH: system control

70H: coupler

vvH: type and switch

00H=III/P on

10H=III/P off

01H=II/P on

11H=II/P off

02H=I/P on

12H=I/P off

03H=III/II on

13H=III/II off

04H=I/II on

14H=I/II off

05H=III/I on

15H=III/I off

F7H: EOX

- このメッセージは内部シーケンサーでのみ受信、録音されます。これらは送信されません。

- Couplers(カプラーオン/オフ:Chorum 60/40/S40)

Data format: F0H 31H 2FH 70H vvH F7H

F0H: Exclusive status

31H: Viscount ID

2FH: system control

70H: coupler

vvH: type and switch

00H=II/P on

10H=II/P off

01H=I/P on

11H=I/P off

03H=II/I on

13H=II/I off

F7H: End of Exclusive

- このメッセージは内部シーケンサーでのみ受信、録音されません。これらは送信されません。

システムのリアルタイムメッセージ

FEH: Active Sensing

他のMIDIデータが送信されていないときは、FEHが300ミリ秒間隔で送信されます。

12. 製品仕様

	Chorum 90	Chorum 60	Chorum 40	Chorum S40
基本情報				
手鍵盤	3段×61鍵	2段×61鍵	2段×61鍵	2段×61鍵
足鍵盤	32鍵 平行凹型(※)	32鍵 平行凹型(※)	30鍵 平行凹型	30鍵 平行凹型
ストップの形状	タブレット	タブレット	タブレット	タブレット
アンプ	60 W×2 + 100 W×1	60 W×2 + 100 W×1	60 W×2 + 100 W×1	60 W×2 + 100 W×1
スピーカー	5	5	5	5
エクスペリションペダル	2	1	2	2
クレッシェンドペダル	○	○	○	○
ストップ数と音色				
足鍵盤	10	11	8	8
Man. I	12	13	11	11
Man. II	14	14	12	12
Man. III	11	—	—	—
合計ストップ数	47	38	31	31
サウンドスタイル	4	4	4	4
オーケストラボイス	4	3	3	3
設定				
メモリーボタン	6	6	6	6
メモリーバンク	16	16	16	16
メモリー送りボタン	○	○	○	○
フットピストン	9	6	—	—
カブラー	6	3	3	3
移調	-6～+5(半音単位)	-6～+5(半音単位)	-6～+5(半音単位)	-6～+5(半音単位)
音量/リバーブ	○	○	○	○
トレミュラント	○	○	○	○
リバーブ	8種類	8種類	8種類	8種類
古典調律	17種類	17種類	17種類	17種類
アウトルーター	○	○	○	○
録音/再生	○	○	○	○
デモ曲	○	○	○	○
接続端子				
MIDI IN/OUT	○	○	○	○
ヘッドフォン	○	○	○	○
オーディオ入力	ステレオ入力×1	ステレオ入力×1	ステレオ入力×1	ステレオ入力×1
オーディオ出力	ステレオ出力×2、 サブウーファー出力×1	ステレオ出力×2、 サブウーファー出力×1	ステレオ出力×2、 サブウーファー出力×1	ステレオ出力×2、 サブウーファー出力×1
USB	○	○	○	○
その他				
外形寸法(mm) (幅×高さ×奥行)	1445×1245×1140 (足鍵盤含む) 1445×1245×695 (本体のみ)	1380×1160×1120 (足鍵盤含む) 1380×1160×630 (本体のみ)	1260×1160×990 (足鍵盤含む) 1260×1160×630 (本体のみ)	1260×1160×990 (足鍵盤含む) 1260×1160×570 (本体のみ)
質量	146 kg	127 kg	115 kg	108 kg

※扇凹型も選びいただけます（納期4～5ヶ月）。

MIDI インプリメンテーションチャート

Viscount Chorum
Classic Organ

Version: 1.0
Date: 21/03/2016

FUNCTION...		TRANSMITTED	RECEIVED	REMARKS
BASIC	Default	1÷15	1÷15	
CHANNEL	Changed	1÷15	1÷15	
MODE	Default	Mode 3	Mode 3	
	Messages	*****	*****	
	Altered	*****	*****	
NOTE		30÷101	30÷101	
NUMBER	True Voice	36÷96	30÷101	
VELOCITY	Note ON	O	O	
	Note OFF	O	O	
AFTER	Key's	X	X	
TOUCH	Ch's	X	X	
PITCH BENDER		X	X	
CONTROL	0	O	O	Bank Select MSB *1
CHANGE	7	O	O	Volume
	11	O	O	Expression
	32	O	O	Bank Select LSB
	64	O	O	Sustain
	120	O	O	All sounds off
	121	O	X	Reset All Controllers
	123	O	O	All Notes Off
PROGRAM		O	O	*2
CHANGE	True#			
SYSTEM EXCLUSIVE		O	O	
SYSTEM	Song Pos	X	X	
COMMON	Song Sel	X	X	
	Tune	X	X	
SYSTEM	Clock	X	X	
REAL TIME	Commands	X	X	
AUX	Local On-Off	X	X	
MESSAGES	All notes off	O	O	
	Active Sense	O	O	
	Reset	X	X	
NOTES:				
*1: this message can be received on ch.16 only for selecting Memory Bank				
*2: this message can be received on ch.16 only for selecting combinations, Tutti and Crescendo steps.				

Mode 1: Omni On, Poly
Mode 3: Omni Off, Poly

Mode 2: Omni On, Mono
Mode 4: Omni Off, Mono

O=YES
X=NO

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

●保証書

本機には、保証書がついています。

保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印、お買い上げ日」などの記入をお確かめの上、大切に保管してください。

●保証期間

保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

有寿命製品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。

有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

有寿命部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類
接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ヒューズなど

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

●修理のご依頼

異常があるときは、お買い上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターへ修理をお申し付けください。

●製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

(全国共通番号) **0570-012-808**

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。

通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は、053-460-4830 におかけください。

受付時間 月曜日～金曜日 10:00～17:00

(土曜、日曜、祝日およびセンター指定
休日を除く)

FAX

東日本

(北海道 / 東北 / 関東 / 甲信越 / 東海)
03-5762-2125

西日本

(沖縄 / 九州 / 中国 / 四国 / 近畿 / 北陸)
06-6649-9340

◆製品に関するお問い合わせ

株式会社ヤマハミュージックジャパン

バイカウントオルガン お問い合わせ窓口

TEL : 03-5488-5442

受付時間 月曜日～金曜日 10:00～17:00

(土曜、日曜、弊社指定休日を除く)

ウェブサイトからの
お問い合わせはこちら





CLASSIC ORGAN

総輸入発売元
株式会社ヤマハミュージックジャパン

鍵盤営業部 ピアノ・EKBマーケティング課
〒108-8568 東京都港区高輪2丁目17-11
TEL : 03-5488-5442

